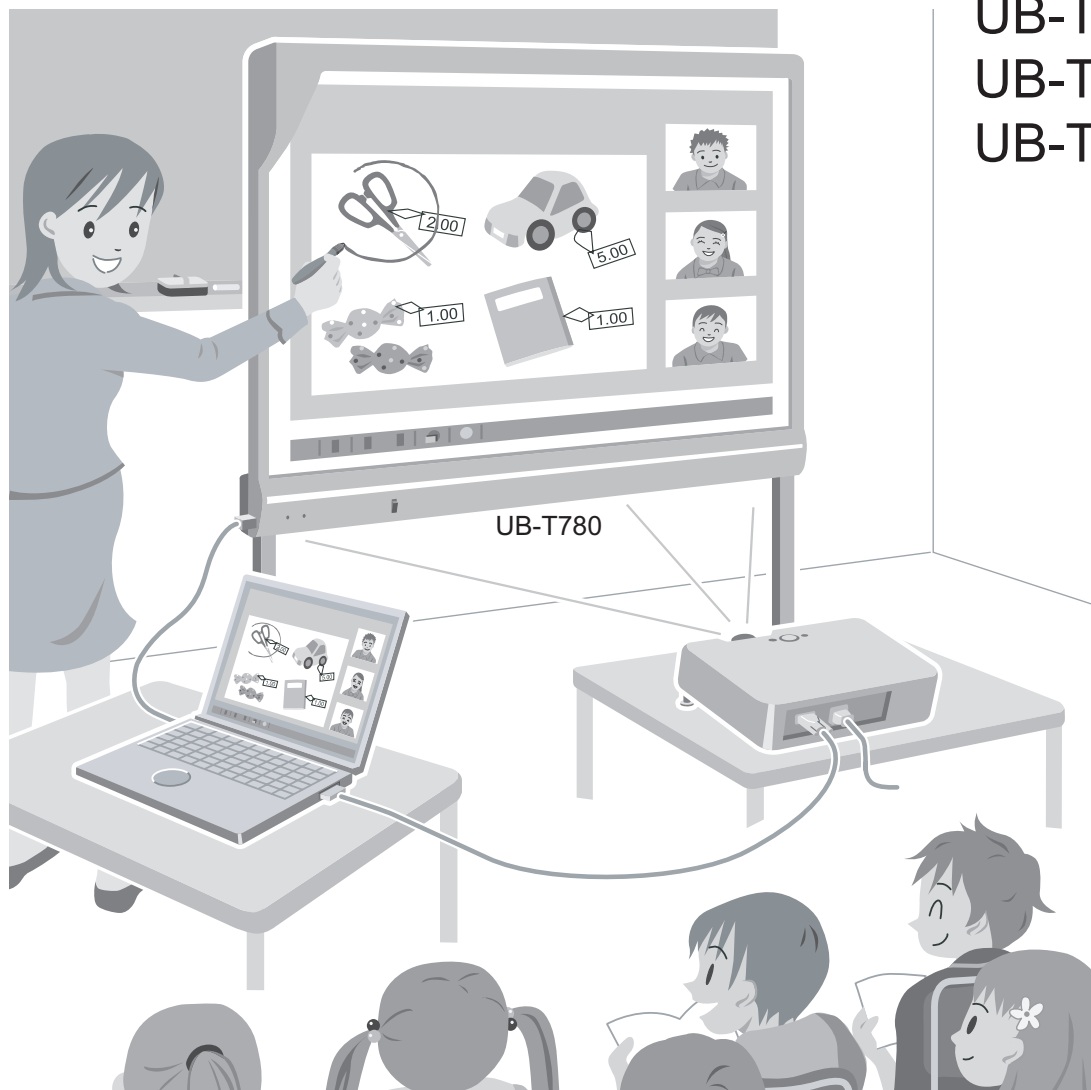


Panasonic®

取扱説明書 (ソフトウェア編)

電子黒板 (エリート パナボード)

品番 UB-T781
UB-T781W
UB-T780
UB-T780BP
UB-T761



スタンドは別売品です。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の特徴

本機とコンピューターを接続し、本機のスクリーンにプロジェクターでコンピューターの画面を投影すると、下記のような操作を行うことができます。

電子ペン機能

- 電子ペンを使用してマウスのようにデスクトップ画面を操作できます。
- 電子ペンを使用してデスクトップ画面に線を書いたり、消したりできます。
- 電子ペンで描画したデスクトップ画面をイメージファイルに保存できます。

エリート パナボード ブック

電子ペンでの加筆、図形描画、イラスト貼付、パソコン操作などスクリーン上での作業を支援するソフトウェアです。エリート パナボード ブック上で作成した内容はパソコンに保存し、後から再利用することもできます。

エリート パナボード ソフトウェアの2つの動作モード

エリート パナボード ソフトウェアは以下の2つの動作モードで使用することができます。

- デスクトップ描画モード
- エリート パナボード ブックモード

デスクトップ描画モード

エリート パナボード上に投影されたデスクトップ画面に、電子ペンを使用して文字や絵を書いたり、アプリケーションの操作をすることができます。電子ペンで書いた内容はデータとして保存できます。デスクトップの背景やアプリケーションのデータそのものが変更されることはありません。

エリート パナボード ブックモード

エリート パナボード ブックは、教材やプレゼンテーション用の資料を作成するためのソフトウェアです。エリート パナボード ブックで作成したデータは独自形式のデータファイル (.peb) で保存されます。事前にエリート パナボード ブックで作成した資料を使用して、説明することができます。

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書は、次の2冊で構成されています。

基本編 (冊子)	本機の接続や操作のしかた、設置工事などについて説明しています。
ソフトウェア編 (本書)	本機に付属のエリート パナボード ソフトウェアとエリート パナボード ブックの操作のしかたについて説明しています。

本書の表記について

本書では、操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のマークで表しています。

お願い	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
お知らせ	操作の参考となることや補足説明を記載しています。

表記について

Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。

Windows® 2000の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemです。

Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating systemです。

Windows Vista®の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。

Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。

Excel®の正式名称は、Microsoft® Excel® spreadsheet softwareです。

PowerPoint®の正式名称は、Microsoft® PowerPoint® presentation graphics programです。

DirectX®の正式名称は、DirectX application programming interfaceです。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、PowerPoint、Windows MediaおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標または商標です。
- Intel およびPentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- Adobe、Adobe ReaderおよびFlashは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

コンピューターのシステム環境

コンピューター	CD-ROMドライブが使用可能なIBM® PC/AT®互換機
CPU	Intel® Pentium® 4以上のプロセッサ
オペレーティングシステム	Windows 2000 SP4 / Windows XP SP2 以降 / Windows Vista / Windows 7 ※ Windows XP 64 bit版では動作しません。
インターフェース	USB 2.0
メモリー	256 MB 以上 (Windows 2000 SP4) 512 MB 以上 (Windows XP SP2 以降) 512 MB 以上 (Windows Vista) 1 GB 以上 (Windows 7)
ハードディスク	400 MB以上の空き容量 (ファイルを保存する領域を除く)
ディスプレイ	色数 16 bit以上 (Windows 2000 SP4、Windows XP SP2) 色数 32 bit以上 (Windows Vista、Windows 7)

お知らせ

- エリート パナボード ソフトウェアを使用するには、.NET Framework 2.0以上 と DirectX 7.0 以上が必要です。お使いのコンピューターに .NET Framework 2.0がインストールされていない場合は、CD-ROMよりソフトウェアのインストールをすると .NET Framework 2.0がインストールされます。
- 上記の必要条件は、すべてのオペレーティングシステムが推奨する条件を満たすものではありません。
- 動画の挿入・再生機能をご使用になる場合は、Windows Media® Player 10以降および Adobe® Flash® Playerのインストールが必要です。
- Windows 2000 SP4では、動画の挿入・再生機能は対応していません。
- 手書き文字認識機能は、Windows Vista Ultimate、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business、Windows 7 Ultimate、Windows 7 Professional、Windows 7 Home PremiumおよびWindows XP Tablet PC Edition 2005にて対応しています。
- Windows 2000 SP4以降およびWindows XP Professionalにて手書き文字認識機能をご使用になる場合は、Tablet PC SDKとMicrosoft Windows XP Tablet PC Edition 2005 Recognizer Packのインストールが必要です。
- Windows Vista Home Basic、Windows 7 StarterおよびWindows XP Home Editionでは、手書き文字認識機能は対応していません。
- 録画および動画の再生には十分なハードディスクの空き容量が必要です。
- Windows Vista Home Basic 64 bit版では、スクリーンキーボード機能は対応していません。
- Windows Vista 64 bit版およびWindows 7 64 bit版では、オリジナルキーボード機能は対応していません。

もくじ

デスクトップ描画モード	8
エリート パナボード ソフトウェアを起動して、キャリブレーションを行う	8
デスクトップ描画ツールの使いかた	9
矢印	9
イレーサー	9
マーカー（黒／赤／青／緑）	9
元に戻す	9
やり直し	9
リフレッシュ	10
オールクリア	10
設定	10
白背景	10
キャプチャー	11
PowerPointスライドショー	11
スクリーンキーボード	13
エリート パナボード ブック	14
拡大鏡	14
スクリーンシェード	14
スポットライト	14
レコーダー	15
印刷	16
書画カメラ	16
アイコンサイズ変更	16
デスクトップ描画ツールの表示を切り替える	17
電子ペンでデスクトップ描画ツールの矢印とマーカーの選択を切り替える	17
電子ペンでデスクトップ描画ツールの位置を切り替える	18
エリート パナボード ソフトウェアのメニューについて	18
キャリブレーション	18
ツール	18
オプション...	19
ヘルプ...	20
バージョン情報...	20
終了	20
エリート パナボード ブックモード	21
エリート パナボード ブックを起動する	21
エリート パナボード ブックの画面構成	22
エリート パナボード ブックの基本画面	22
ツールバーの各ボタンについて	23

エリート パナボード ブックの基本的な使いかた	24
プレゼンテーション用のファイルを作成する	24
作成したファイルを使用してプレゼンテーションを行う	28
プレゼンテーションで使用したファイルをエクスポートする	28
デスクトップ上の操作を録画する	28
録画した動画をエリート パナボード ブックで再生する	29
描画ツールの操作のしかた	29
マーカー（黒／赤／青／緑）	29
ハイライトマーカー	29
イレーサー	30
直線	30
図形	30
テキスト	30
描画ツールのカスタマイズのしかた	31
描画ツールをカスタマイズする	31
描画したオブジェクトの操作のしかた	31
オブジェクトを選択する	31
オブジェクトを移動する	31
オブジェクトのサイズを変更する	32
オブジェクトを回転させる	32
オブジェクトのプロパティを変更する	32
図形にテキストを追加する	32
オブジェクトの順序を設定する	33
オブジェクトをグレーで表示する（シェード）	33
オブジェクトを複製する	33
自由線を手書き文字認識する	33
動画ファイルの操作のしかた	34
動画ファイルを再生する	34
エリート パナボード ブックのメニューについて	35
ファイルメニュー	35
編集メニュー	38
挿入メニュー	40
ページメニュー	41
表示メニュー	42
フォーマットメニュー	45
ツールメニュー	48
ヘルプメニュー	50
ソフトウェアのインストール	51
エリート パナボード ソフトウェアのインストール	51
エリート パナボード ソフトウェアを削除するには	52

必要なとき	53
故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）	53

エリート パナボード ソフトウェアを起動して、キャリブレーションを行う

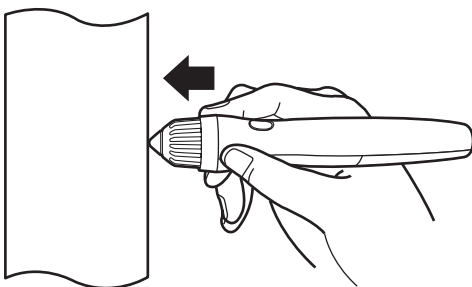
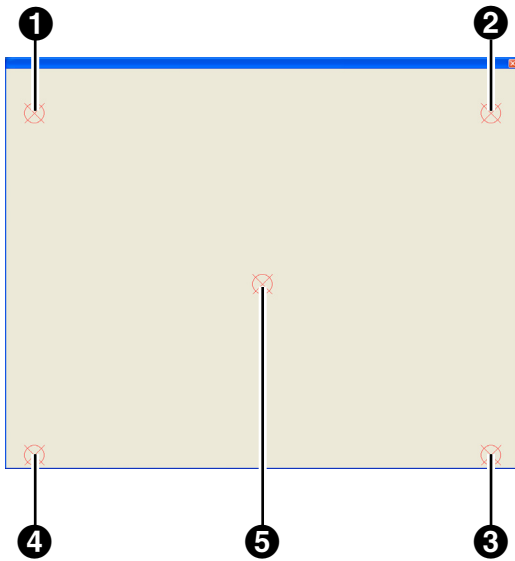
1 本機の電源を入れる

2 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続する

- エリート パナボード ソフトウェアが自動で起動されます。
- 初めてエリート パナボード ソフトウェアを起動する場合、キャリブレーション画面が自動的に表示されます。
- 再起動を促す画面が表示される場合は、再起動してください。再起動後、本機とコンピューターをUSB ケーブルで接続してください。

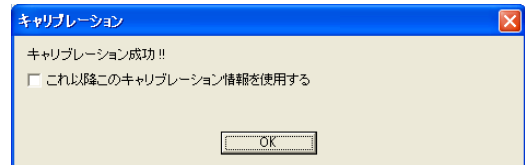
3 キャリブレーションを実行する

4 指定されるポイントの中央を図の順番に、電子ペンで約2秒間押し当てる




- 電子ペンは垂直に立てて、押し当ててください。

- ペン先を押し当てると「ジー」という音が鳴ります。
- 指定するポイントへの電子ペンによる押し当てが正しく終了すると、自動的に次のポイントに移動します。
- キャリブレーションが正常に終了すると、終了を知らせるメッセージボックスが表示されます。



5 [OK] をクリックする

- 本機とプロジェクターが動かないように固定されている場合（壁掛けの場合）、[これ以降このキャリブレーション情報を使用する] をチェックして [OK] をクリックすると、次回起動以降のキャリブレーション操作はスキップされます。
- キャリブレーションが終了すると、通知領域に  アイコンが表示され、デスクトップ描画ツールが自動的に表示されます。



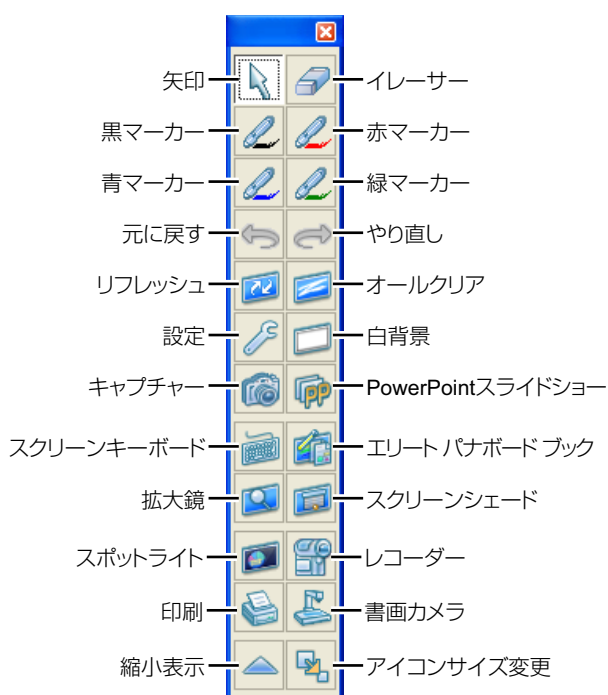
[デスクトップ描画ツール]

- エリート パナボード ソフトウェアを使用することができます。

デスクトップ描画ツールの 使いかた


エリート パナボード ソフトウェアを起動すると、デスクトップ描画ツールが表示されます。デスクトップ描画ツールを使用して、デスクトップ画面やアプリケーションデータ上で、文字や絵を書いたり消したりすることができます。また、電子ペンを使用して、デスクトップ描画ツールの各機能を切り替えることができます。

各ツールの名称



矢印

電子ペンをマウスとして使用します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (矢印) をクリックする

- マウスと同じ操作ができます。

左クリック

電子ペンのペン先で、エリート パナボードを押して、離します。

右クリック

電子ペンボタンを押しながら、ペン先でエリート パナボードを押して、離します。

ダブルクリック


電子ペンのペン先で、エリート パナボードを2度押して、離します。

ドラッグ&ドロップ

電子ペンのペン先で、エリート パナボードを押して、オブジェクトを選択します。ペン先をエリート パナボードに押しつけたまま動かし、離します。





イレーサー

電子ペンで描画した自由線を部分的に消去します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (イレーサー) をクリックする
- 2 部分的に消去したい箇所を、電子ペンでなぞる (電子ペンのペン先を、エリート パナボードに押しつけたまま動かす)

マーカー (黒 / 赤 / 青 / 緑)


電子ペンで文字や絵などの自由線を描画します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (黒マーカー) /  (赤マーカー) /  (青マーカー) /  (緑マーカー) のいずれかをクリックする

- 2 電子ペンで、エリート パナボードに書き込む


元に戻す

操作を元に戻します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (元に戻す) をクリックする
 - ひとつ前の状態に戻ります。

やり直し

元に戻した操作をもう一度やり直します。

- 1 デスクトップ描画ツールの  (やり直し) をクリックする
 - [元に戻す] で取り消した操作が、もう一度やり直されます。

リフレッシュ

電子ペンで描画した自由線が一時的に消えた場合に、描画された自由線を再び元の位置に表示します。

1 デスクトップ描画ツールの (リフレッシュ) をクリックする

- 描画された自由線が再表示されます。

オールクリア

マーカーで描画した自由線をすべて消去します。

1 デスクトップ描画ツールの (オールクリア) をクリックする

- オールクリア操作の確認画面が表示されます。

2 消去する場合は、[はい] をクリックする

- 描画された自由線がすべて消去されます。
- 消去をキャンセルする場合は、[いいえ] を選択してください。

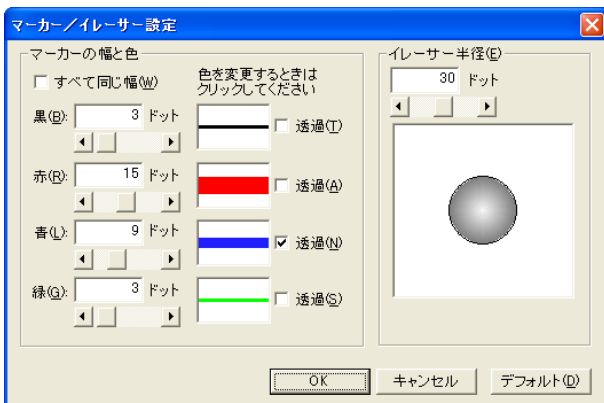
設定

マーカーの幅と色と透過の設定、イレーサーの大きさを変更します。マーカーの幅は、4種類のマーカーごとに変更できます。

1 デスクトップ描画ツールの (設定) をクリックする

- 「マーカー／イレーサー設定」画面が表示されます。

2 マーカーの色と幅、イレーサーの大きさを変更する



すべて同じ幅

チェックすると、すべてのマーカーの幅が同じになります。

黒／赤／青／緑

各マーカーの幅を設定します。1～30の値を入力してください。または、スクロールバーを左右に動かして、入力値を変更することができます。

色を変更するときはクリックしてください

クリックすると、「色の設定」画面が表示され、マーカーの色を変更することができます。

透過

チェックすると、マーカーの色が半透明になります。

イレーサー半径

イレーサーの半径を設定します。1～60の値を入力してください。または、スクロールバーを左右に動かして、入力値を変更することができます。

3 [OK] をクリックする


お知らせ

- マーカーの色を変更すると、デスクトップ描画ツールのマーカーボタンに、設定した色が表示されます。

白背景

デスクトップ全面に白い画面を表示します。補足説明する場合があります。

1 デスクトップ描画ツールの (白背景) をクリックする

- デスクトップ上に白い画面が表示されます。元の状態に戻すには、再度  (白背景) をクリックしてください。

キャプチャー

デスクトップに表示している画面と、電子ペンで描画した自由線を画像ファイルとして保存します。保存方法には、以下の2通りの方法があります。

- ファイル名を入力して保存する
 - 日時で決まるファイル名で自動的に保存する
- 保存方法やファイル形式についての詳細は「オプション... (19 ページ)」をご参照ください。

ファイル名を入力して保存する場合

1 デスクトップ描画ツールの (キャプチャー) をクリックする

- 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

2 ファイルを保存する場所、ファイル名、ファイルの種類を指定する

- [ファイルの種類] は以下のファイル形式を選択することができます。
 - ビットマップファイル (.bmp)
 - JPEGファイル (.jpg)
 - TIFFファイル (.tif)

3 [保存] をクリックする

- 「名前を付けて保存」画面で、既存のTIFFファイルを選択して、同じ名前で保存する場合、イメージを追加するか、上書きするかを確認する画面が表示されます。
 - イメージを追加する場合
[はい] を選択してください。既存のTIFFファイルの最終ページにイメージが追加され、マルチページのTIFFファイルとして保存されます。
 - イメージを上書きする場合
[いいえ] を選択してください。既存のイメージはクリアされ、シングルページのTIFFファイルとして保存されます。

日時で決まるファイル名で自動的に保存する場合

1 通知領域の アイコンをクリックして、[オプション...] を選択する

2 [自動的に日時のファイル名で保存する] にチェックを入れ、「保存フォルダー」と「フォーマット」を指定する

3 [OK] をクリックして、「オプション」画面を閉じる

4 デスクトップ描画ツールの (キャプチャー) をクリックする

- 保存確認の画面が表示されます。

5 [OK] をクリックする

- [次からこのダイアログを表示しない] をチェックすると、次回から保存確認の画面が表示されなくなります。再度表示させるには、「オプション... (19 ページ)」をご参照ください。

PowerPointスライドショー

デスクトップ描画ツールからPowerPointを起動し、ファイルをスライドショーで表示します。電子ペンで描画した自由線は、スライドごとにデータを記憶しているため、スライドを切り替えても、前のスライドで描画した自由線が次のスライド上に表示されることはありません。また、スライドに描画したデータはファイルに保存することができるので、次回スライドショーを実行するときにも再利用することができます。

お知らせ

- PowerPointスライドショーを操作するためには、コンピューターにPowerPoint97以降がインストールされている必要があります。
- スライド上に描画されるデータは、デスクトップ描画ツールのデータであり、PowerPointのデータではありません。

スライドショーを実行する

1 デスクトップ描画ツールの (PowerPointスライドショー) をクリックする



- 「ファイルを開く」画面が表示されます。

2 スライドショーを実行するPowerPointファイルのフォルダーとファイル名を指定する



3 [開く] をクリックする

- PowerPointが起動し、自動的にスライドショーが実行されます。

お知らせ

- すでにPowerPointファイルが開いているときに  (PowerPointスライドショー) をクリックすると、「ファイルを開く」画面は表示されず、開いているファイルのスライドショーが自動的に実行されます。
- PowerPointでスライドショーを実行した場合は、操作対象とするために、  (PowerPointスライドショー) をクリックしてください。

スライドショーのスライドを切り替える

スライドショー実行中は、デスクトップ描画ツールに  (次へ)、 (前へ) ボタンが表示されます。

1 デスクトップ描画ツールの (次へ) または (前へ) をクリックする



- PowerPointスライドショーの [次へ] または [前へ] と同じ動作をします。
- マーカーまたはイレーサーを選択している場合は、一時的に矢印を選択してスライドを切り替える必要はありません。

スライドショーを終了する

1 スライドショーの実行中にデスクトップ描画ツールの (PowerPointスライドショー) をクリックする

- PowerPointスライドショーが終了します。

お知らせ

-  (PowerPointスライドショー) をクリックせずに、 (次へ) などによりスライドショーが終了した場合でも、デスクトップ描画ツールは自動的にスライドショーの終了を認識し、終了状態になります。

スライドに描画したデータを保存する


デスクトップ描画ツール終了時、スライドにマーカーまたはイレーサーを使用して描画または消去された自由線のデータを描画データファイルとして保存するかどうか確認するための画面が表示されます。

この画面で保存するよう指示すると、自由線のデータがPowerPointファイルと同じファイル名の描画データファイル (拡張子「.pes」) として保存されます。保存先は、デフォルトでPowerPointファイルと同じフォルダーに保存されます。このフォルダーに保存ができない場合は、「オプション... (19 ページ)」で設定されているフォルダーに保存されます。

お知らせ

- 描画データは、独自形式の描画データファイル (.pes) に保存されます。

保存しておいた描画データを使用してスライド上に描画する

 (PowerPointスライドショー) をクリックしてスライドショーを実行するときに、PowerPointファイルと同じフォルダー、または「オプション... (19 ページ)」で設定されているフォルダーに、PowerPointファイルと同じ名前の描画データファイルが存在する場合、使用するかどうか確認するダイアログが表示されます。使用するよう指示すると、描画データファイルから自由線のデータが読み込まれ、スライドに描画されます。


お知らせ

- 一度保存された描画データファイルが不要になった場合は、エクスプローラなどでファイルを削除してください。
- 描画データファイルを、画面の解像度が異なるコンピューターで使用すると、描画したデータの位置がずれます。
- 旧バージョンの描画データファイル (「.ips」) を読み込むことはできますが、旧バージョンの描画データファイル (「.ips」) での保存はできません。

スクリーンキーボード

スクリーンキーボードは、エリート パナボード上に投影されたデスクトップ画面に表示される仮想キーボードです。スクリーンキーボードのキーをクリックすることで、文字入力することができます。

スクリーンキーボードには、オリジナルキーボードとWindowsキーボードがあります。起動するスクリーンキーボードを変更するには、「オプション... (19 ページ)」をご参照ください。

1 デスクトップ描画ツールの  (スクリーンキーボード) をクリックする

2 入力の対象となるアプリケーションウィンドウをアクティブにし、入力箇所にテキストカーソルを合わせる

(例：Excelのセルをダブルクリックして、テキスト入力モードにする)

3 スクリーンキーボードの文字をクリックする

オリジナルキーボードの操作

スクリーンキーボードの表示方法を選択する

スクリーンキーボードの表示方法を選択することができます。スクリーンキーボードのメニューバーから [キーボード] をクリックして、以下のいずれかを選択してください。

拡張キーボード

数値キーパッドが付いているキーボードを表示します。

標準キーボード

数値キーパッドが付いていないキーボードを表示します。

スクリーンキーボードを常に画面の最上位に表示する

スクリーンキーボードを常に画面の最上位に表示することができます。スクリーンキーボードのメニューバーから [設定] → [常に最上位に表示する] をクリックして、チェックをつけてください。常に最上位に表示しない場合は、チェックをはずします。

スクリーンキーボードのサイズを変更する

スクリーンキーボードのサイズを変更することができます。スクリーンキーボードのメニューバーから [設定] → [リサイズ] で、[大/中/小] のいずれかのサイズを選択してください。

- スクリーンキーボードウィンドウの右端か左端をドラッグして、スクリーンキーボードのサイズを変更することもできます。上端と下端はドラッグしてもサイズ変更できません。
- スクリーンキーボードの縦横比は固定です。
- ウィンドウサイズの幅は [中] サイズの半分～2倍までです。

お知らせ

- スクリーンキーボードのタイトルバーに、入力対象となっているアプリケーション名が表示されます。
- Windows Vista Home Basic 64 bit版では、スクリーンキーボード機能は対応していません。

エリート パナボード ブック

デスクトップ描画ツールからエリート パナボード ブックを起動します。

1 デスクトップ描画ツールの (エリート パナボード ブック) をクリックする

- エリート パナボード ブックが起動します。

お知らせ

- デスクトップ描画ツールは、タスクバーに最小化されます。
- エリート パナボード ブックを使用中は、デスクトップ描画ツールはタスクバーに最小化され、電子ペンで描画した自由線も表示されません。
- デスクトップ描画ツールを表示するには、タスクバーのタスクボタンをクリックします。電子ペンで描画した自由線も再度表示されます。

拡大鏡

エリート パナボードに投影された画面の一部を、拡大表示することができます。

1 デスクトップ描画ツールの (拡大鏡) をクリックする

- 拡大鏡ウィンドウが起動します。
- マーカー選択の状態では、拡大鏡を起動した場合は、マウスポインターは矢印状態になります。

2 拡大表示したい箇所に、拡大鏡ウィンドウをドラッグする

- 拡大鏡ウィンドウの中の画面が、拡大表示されます。

3 拡大鏡ウィンドウを右クリックして表示の倍率を変更する

- 2倍、3倍、4倍、5倍の倍率設定ができます。

お知らせ

- 拡大鏡を移動中は、描画した自由線は拡大表示されません。

スクリーンシェード

エリート パナボードに投影した画面の一部を、グレーのスクリーンで隠すことができます。

1 デスクトップ描画ツールの (スクリーンシェード) をクリックする

- スクリーンシェードが起動し、画面全体がグレーのスクリーンで覆い隠されます。
- マーカー選択の状態では、スクリーンシェードを起動した場合は、マウスポインターは矢印状態になります。

2 スクリーンシェードの四辺をドラッグして必要な部分のみを隠す大きさに変更する

- デスクトップ画面の一部がグレーのスクリーンで隠れます。

お知らせ

- スクリーンシェードをドラッグして隠れている画面を徐々に見せることができます。

スポットライト

エリート パナボードに投影された画面の一部をスポットライトがあたったように表示することができます。

1 デスクトップ描画ツールの (スポットライト) をクリックする

- スポットライトウィンドウが起動します。
- マーカー選択の状態では、スポットライトを起動した場合は、マウスポインターは矢印状態になります。

2 スポットライトがあたっていない場所をドラッグして移動する

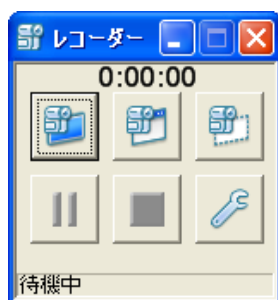
3 スポットライトの青枠をドラッグして大きさを変更する







レコーダー

エリート パナボードに投影された画面や画面上の操作を録画することができます。


1 デスクトップ描画ツールの (レコーダー) をクリックして起動する

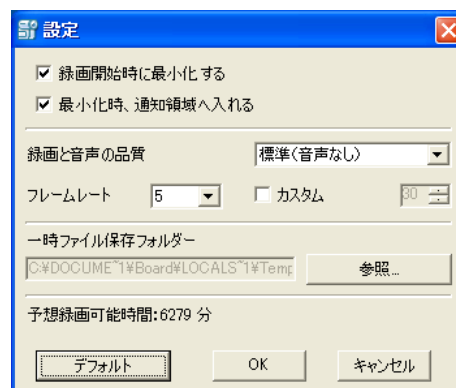
- レコーダーウィンドウが表示されます。



	デスクトップ全体を録画します。ボタンをクリックすると録画が開始されます。
	赤枠のついたデスクトップ上のウィンドウを録画します。ドラッグしながら録画したいウィンドウを選択します。ドラッグを解除すると録画が開始されます。
	ドラッグして指定した赤枠部分を録画します。録画したい領域を指定してください。ドラッグを解除すると録画が開始されます。
	録画を一時停止します。
	録画を停止し、動画を保存します。「名前を付けて保存」画面が表示されますので、動画ファイルの保存先、ファイル名を設定し保存します。
	録画時の品質や操作方法を設定します。

録画時の品質や操作方法を設定する


 (設定) を押すと、録画の設定画面が表示されます。



録画開始時に最小化する

チェックすると、レコーダーウィンドウを録画時に最小化します。

最小化時、通知領域へ入れる

チェックすると、最小化時、通知領域に  アイコンが表示されます。


チェックしない場合は、最小化時タスクバーに入ります。

操作するには  をクリックしてレコーダーウィンドウを表示します。

通知領域での操作方法

一時停止するには

通知領域の  をクリックしてください。

再開するには通知領域の  をクリックしてください。

停止するには

通知領域のアイコンをダブルクリックするか右クリックし[停止]を選択し、動画を保存します。

お知らせ

- アプリケーションが全画面表示されている場合に録画を停止するには、全画面表示を終了させてタスクバーや通知領域が表示された状態で操作してください。

録画と音声の品質

録画と音声の品質を選択します。

フレームレート

フレームレート（1秒あたりのコマ数）1秒あたりのコマ数を設定します。
プルダウンメニューにない値を設定する場合は、**[カスタム]** で値を設定してください。

一時ファイル保存フォルダー

録画用の一時ファイル保存フォルダーを設定します。十分に空きがあるフォルダーを選択してください。

予想録画可能時間

現在の設定から予想される録画時間です。
「録画と音声の品質」、「フレームレート」および「一時ファイル保存フォルダー」を設定する際に、表示される予想録画可能時間を参考にしてください。


操作方法についての詳細は、「デスクトップ上の操作を録画する (28 ページ)」をご参照ください。

お知らせ

- 音声を録音するには、コンピューター側のマイクが必要です。


印刷

デスクトップに表示している画面と、電子ペンで描画した自由線を印刷します。


- 1 デスクトップ描画ツールの （印刷）をクリックする
 - 「印刷」画面が表示されます。
- 2 [OK] をクリックする
 - 印刷が開始されます。

書画カメラ

書画カメラのアプリケーションを起動します。


- 1 デスクトップ描画ツールの （書画カメラ）をクリックする
 - 書画カメラのアプリケーション画面が表示されます。

お知らせ


- 対応している書画カメラについての情報は、ダウンロードのウェブサイトをご参照ください。ダウンロードのウェブサイトを開くには、「最新版のソフトウェアをダウンロードする (50 ページ)」の手順に従ってください。
- 書画カメラのアプリケーションがインストールされていない場合は、（書画カメラ）は無効です。
- すべての書画カメラのアプリケーションに対応しているものではありません。
- 対応していない書画カメラの場合は、「オプション... (19 ページ)」で書画カメラのアプリケーションのパスを設定することが可能です。

アイコンサイズ変更

デスクトップ描画ツールのアイコンサイズを変更することができます。

- 1 デスクトップ描画ツールの （アイコンサイズ変更）をクリックする
 - アイコンサイズが小さくなります。

お知らせ

- 元のサイズに戻すには （アイコンサイズ変更）をクリックしてください。

デスクトップ描画ツールの表示を切り替える

デスクトップ描画ツールは、3段階で表示するボタンの数や大きさを変更することができます。

標準表示

すべてのボタンが表示されます。

マーカー表示

自由線の描画や消去のみを行うための表示です。キャプチャーやPowerPointスライドショーボタンは表示されません。

縮小表示

デスクトップ描画ツールにより、下の画面が隠れてしまう場合は、縮小表示にすることで、隠れる部分を最小限にすることができます。

1 デスクトップ描画ツールの (縮小表示)、または (拡大表示) をクリックする

- デスクトップ描画ツールの表示が切り替わりません。

標準表示







マーカー表示





縮小表示








お知らせ

- PowerPointスライドショー実行中は、「標準表示」と「マーカー表示」に  (次へ) と  (前へ) ボタンが表示されます。
- 「標準表示」の場合は、 または  (アイコンサイズ変更) ボタンが表示され、デスクトップ描画ツールのボタンサイズを「小」または「大」に切り替えることができます。



電子ペンでデスクトップ描画ツールの矢印とマーカーの選択を切り替える

電子ペンの手元操作で、デスクトップ描画ツールのボタンを使わずに、 (矢印) と  (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) のいずれかとの選択を切り替えることができます。

1 (矢印) または (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) のいずれかが選択された状態で、電子ペンのペンボタンを押しながら、ペン先でダブルクリックする



-  (矢印) が選択されていた場合は、 (最後に使用した色のマーカー) に切り替わります。エリート パナボード ソフトウェアを起動後、一度もマーカーが選択されていない場合は、 (黒マーカー) が選択されます。
-  (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) が選択されていた場合は、 (矢印) に切り替わります。

お知らせ


-  (イレーサー) が選択されている場合は、マーカーではなく、 (イレーサー) へ切り替わります。

電子ペンでデスクトップ描画ツールの位置を切り替える

プレゼンターが説明するとき、エリート パナボードの左右を行き来することがあります。このときに、デスクトップ描画ツールが反対側にあると、操作がしづらくなります。この場合、電子ペンを使用して、デスクトップ描画ツールを表示させたい場所に、移動することができます。この機能を有効にするには、「オプション... (19 ページ)」をご参照ください。

- 1  (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) または、 (イレーサー) が選択されている状態で、電子ペンのペンボタンを押しながら、ペン先でクリックする
 - デスクトップ描画ツールが非表示になります。
- 2 デスクトップ描画ツールを表示させたい場所で、電子ペンのペンボタンを押しながら、ペン先でクリックする
 - デスクトップ描画ツールが再表示されます。

エリート パナボード ソフトウェアのメニューについて

通知領域に登録された  アイコンをクリックするとエリート パナボード ソフトウェアのメニューが表示されます。エリート パナボード ソフトウェアでは、以下のような操作や設定を行うことができます。

キャリブレーション

電子ペンで書いた文字や自由線などが、スクリーンに投影した画像位置に対して、正しい位置で表示できるように設定します。本機とプロジェクターのどちらが動いても、スクリーンの位置に対して、投影画面がずれることとなります。この場合は、再度キャリブレーションを実行し、正しい位置に合わせ直してください。

ツール

デスクトップ描画ツールやスクリーンキーボードを表示したり、拡大鏡やスクリーンシェードを起動したりします。

描画

デスクトップ描画ツールを表示します。

スクリーンキーボード

スクリーンキーボードを表示します。

拡大鏡

拡大鏡ウィンドウを表示します。

スクリーンシェード

スクリーンシェードを表示します。

スポットライト

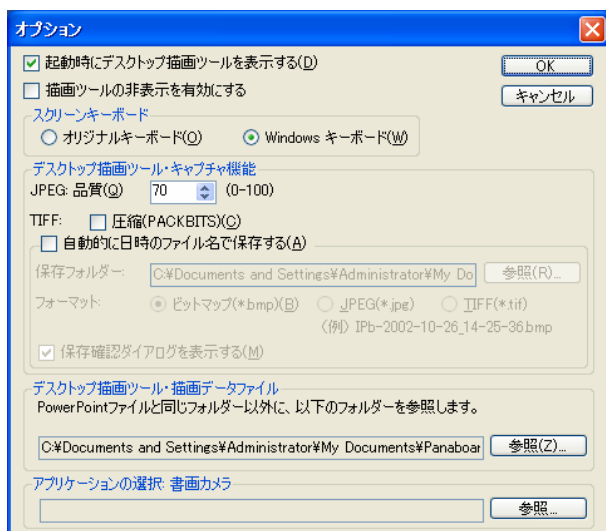
スポットライトを表示します。

レコーダー

レコーダーウィンドウを表示します。

オプション...



エリート パナボード ソフトウェアのオプションを設定します。



起動時にデスクトップ描画ツールを表示する

選択されていると、エリート パナボード ソフトウェアが起動されたときに、自動的にデスクトップ描画ツールを表示します。

描画ツールの非表示を有効にする

選択されていると、 (黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー) または、 (イレーサー) が選択されている状態で、電子ペンのペンボタンを押しながら、ペン先でクリックすると、デスクトップ描画ツールが非表示になります。(→18 ページ)

オリジナルキーボード

エリート パナボード ソフトウェアのオリジナルキーボードを仮想的なキーボードとして使用します。(→13 ページ)

Windowsキーボード

Windowsに付属のスクリーンキーボードを仮想的なキーボードとして使用します。(→13 ページ)

お知らせ

- Windows VistaおよびWindows 7の場合、Windowsキーボード (Tablet PC 入力パネル) の [オプション] ダイアログを開くと、電子ペンの操作ができなくなります。マウスにて [オプション] ダイアログを閉じてください。
- Windows Vista Home Basic 64 bit版では、スクリーンキーボード機能は対応していません。
- Windows Vista 64 bit版およびWindows 7 64 bit版では、オリジナルキーボード機能は対応していません。

JPEG

JPEGファイルに保存する場合の品質レベルを設定します。

TIFF

TIFFファイルに保存するときに圧縮する場合は、[圧縮 (PACKBITS)] をチェックします。

自動的に日時のファイル名で保存する

チェックすると、キャプチャーしたときの日時に決まるファイル名で自動的にイメージファイルに保存します。

保存フォルダー

保存されるイメージファイルのフォルダーを設定します。

フォーマット

保存されるイメージファイルの形式を設定します。

保存確認ダイアログを表示する

保存されるイメージファイル名を確認する画面を表示する場合は、チェックします。

デスクトップ描画ツール・描画データファイル

PowerPointスライドショー用の描画データファイルを参照するとき、PowerPointファイルと同じフォルダー以外に参照するフォルダーを設定します。

アプリケーションの選択：書画カメラ

書画カメラのアプリケーションプログラムのパスを選択します。

ヘルプ...

エリート パナボード ソフトウェアのヘルプを表示します。

お知らせ

- ヘルプを表示するためには、お使いのコンピューターにAdobe® Reader®がインストールされている必要があります。

バージョン情報...

エリート パナボード ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

終了


エリート パナボード ソフトウェアを終了します。

エリート パナボード ブックを起動する

1 Windowsの [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] → [Panasonic] → [エリート パナボード] → [エリート パナボード ブック] をクリックする

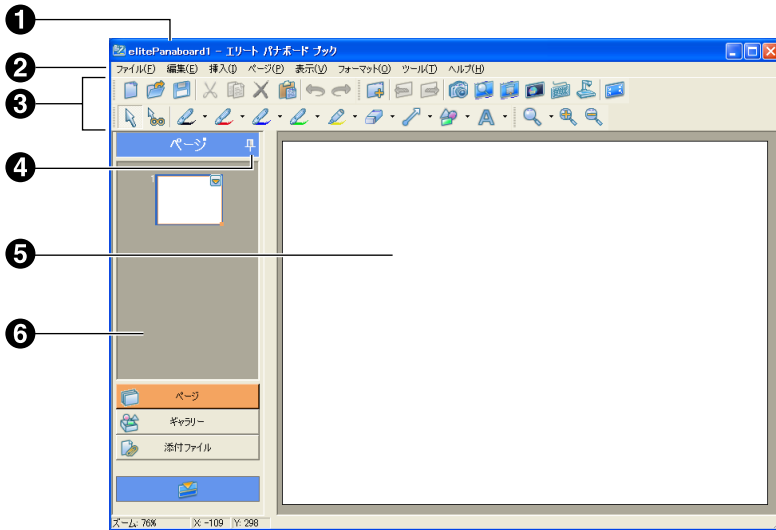
- エリート パナボード ブックが起動します。
- エリート パナボード本体を接続せずにエリート パナボード ブックを起動した場合、画面上にエリート パナボードが接続されていない内容のメッセージが透かしで表示されます。

お知らせ

- デスクトップのショートカットアイコンからエリート パナボード ブックを起動することもできます。
- デスクトップ描画ツールの  (エリート パナボード ブック) をクリックして起動することもできます。デスクトップ描画ツールから、エリート パナボード ブックを起動した場合、デスクトップ描画ツールは、タスクバーに最小化されます。
- エリート パナボード ブックを使用中は、デスクトップ描画ツールはタスクバーに最小化され、電子ペンで描画した自由線も表示されません。
- デスクトップ描画ツールを表示するには、タスクバーのタスクボタンをクリックします。電子ペンで描画した自由線も再度表示されます。

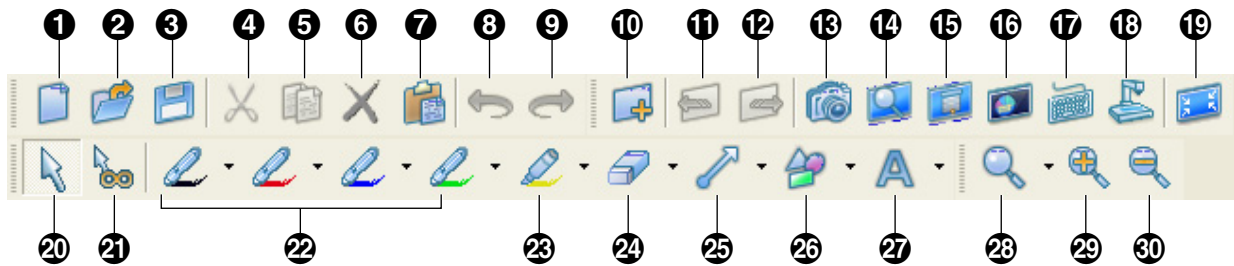
エリート パナボード ブックの画面構成

エリート パナボード ブックの基本画面



- ① **タイトルバー**
編集中のファイル名と使用中のソフト名が表示されます。
- ② **メニューバー**
エリート パナボード ブックのメニューが配置されています。
- ③ **ツールバー**
エリート パナボード ブックで使用するコマンドが配置されています。
- ④ **サイドウィンドウの自動最小化**
サイドウィンドウ表示を自動で最小化する／しないの設定を切り替えます。
- ⑤ **メインウィンドウ**
編集中のページが表示されます。エリート パナボード本体を接続せずにエリート パナボード ブックを起動した場合、画面上にエリート パナボードが接続されていない内容のメッセージが透かして表示されます。
- ⑥ **サイドウィンドウ**
切り替え操作により、ページ、ギャラリー、添付ファイルの4つのボタンが表示されます。
 - **ページ**
作成したページがサムネイル表示されます。
 - **ギャラリー**
テーマごとにいろいろな画像が用意されています。
 - **添付ファイル**
エリート パナボード ブックを使って説明している途中で、他のデータ（Excel、写真など）を使用するときに、あらかじめ登録しておくことができます。
 - **ウィンドウ移動ボタン**
エリート パナボード ブックのウィンドウを一時的に下へ縮め、もう一度クリックすると元に戻る機能です。画面の上部に電子ペンがとどかない場合に使用します。ウィンドウの表示が最大の場合に特に有効です。

ツールバーの各ボタンについて



- | | | |
|---------|---------------------|-----------------------------|
| ① 新規 | ⑩ 新規ページ追加 | ⑱ スポットライト |
| ② 開く | ⑪ 前ページ | ⑲ スクリーンキーボード |
| ③ 上書き保存 | ⑫ 次ページ | ⑳ 書画カメラ |
| ④ 切り取り | ⑬ スクリーンキャプチャー ツールバー | ㉑ フルスクリーン |
| ⑤ コピー | ⑭ 拡大鏡 | ㉒ 選択 (→ 31 ページ) |
| ⑥ 削除 | ⑮ スクリーンシェード | ㉓ 複製選択 (→ 33 ページ) |
| ⑦ 貼り付け | | ㉔ マーカー (黒/赤/青/緑) (→ 29 ページ) |
| ⑧ 元に戻す | | ㉕ ハイライトマーカー (→ 29 ページ) |
| ⑨ やり直し | | ㉖ イレーサー (→ 30 ページ) |
| | | ㉗ 直線 (→ 30 ページ) |
| | | ㉘ 図形 (→ 30 ページ) |
| | | ㉙ テキスト (→ 30 ページ) |
| | | ㉚ ズーム |
| | | ㉛ ズームイン |
| | | ㉜ ズームアウト |

フルスクリーンツールバーの各ボタンについて



- ① 前ページ
- ② 次ページ
- ③ ツールバー
- ④ フルスクリーンの終了

エリート パナボード ブックの基本的な使いかた

エリート パナボード ブックを使用して、プレゼンテーション用の資料の作成方法や、実際に発表するときの操作方法を事例を使って説明します。エリート パナボード ブックの各ツールや機能の詳細については下記をご参照ください。


- 「描画ツールの操作のしかた (29 ページ)」
- 「描画したオブジェクトの操作のしかた (31 ページ)」
- 「エリート パナボード ブックのメニューについて (35 ページ)」

プレゼンテーション用のファイルを作成する

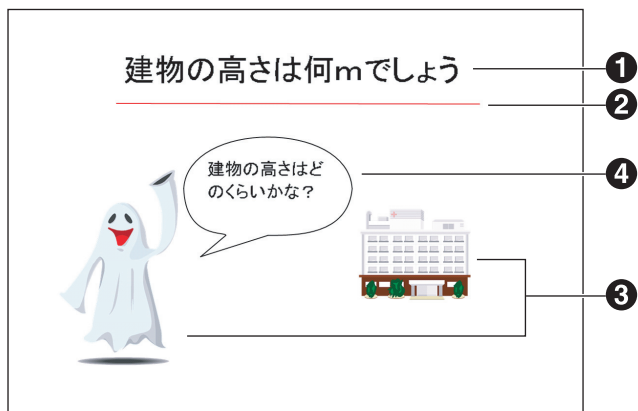
資料を作成する前に

- 発表内容の主なテーマを確認します。
- 説明する内容のストーリーを考えます。
- 説明に必要な写真データや画像の素材を準備します。画像の素材は、素材集のCD-ROMを購入したり、インターネット上で入手したりすることができます。


新規ファイルを作成する

- 1 エリート パナボード ブックのツールバーの  (新規) をクリックして、新規ファイルを作成する


1 ページ目



① タイトルを描画する

- 1 ツールバーの  (テキスト) をクリックする
- 2 テキストを入力したい位置にマウスポインターを合わせてクリックする
 - テキストボックスと「テキストプロパティ」画面が表示され、テキスト編集モードになります。
- 3 キーボードから文字を入力後、テキストボックスの位置やサイズを調整する
 - 「テキストプロパティ」画面で文字のサイズや色などを変更することができます。詳細は、「テキストを編集する」をご参照ください。
- 4 ページ上の白い部分をクリックして、テキスト編集モードを終了する
 - 再度、テキストの編集を行うときは、文字の上をダブルクリックすると、テキスト編集モードになります。詳細は、「テキストを編集する」をご参照ください。

② タイトルの下に線を引く


- 1 ツールバーの  (直線) の下矢印をクリックして、赤の直線を選択する
 - マウスポインターが+に変わります。
- 2 マウスの右ドラッグで水平線を描画する
 - 線の種類、色を変更したいときは、マウスポインターを線に合わせて右クリックし、「選択のプロパティ」画面を表示させて変更することができます。詳細は、「オブジェクトのプロパティを変更する」をご参照ください。

③ 画像の素材を配置する

- 1 サイドウィンドウの [ギャラリー] を選択する
 - サイドウィンドウの上部にフォルダーが表示され、下部に素材が表示されます。
- 2 必要な素材をドラッグ&ドロップでメインウィンドウにコピーする
 - サンプルの画像は、行事と建物に入っています。
 - 素材がページに貼り付けられます。

3 素材をクリックして選択し、サイズを変更する

- 素材の位置やサイズの調整についての詳細は、「オブジェクトを移動する」や「オブジェクトのサイズを変更する」をご参照ください。

4 吹き出しを追加する**1 ツールバーの  (図形) の下矢印をクリックして、吹き出しの図形を選択する**

- マウスポインターが+に変わります。

2 ページ上でマウスをクリックする

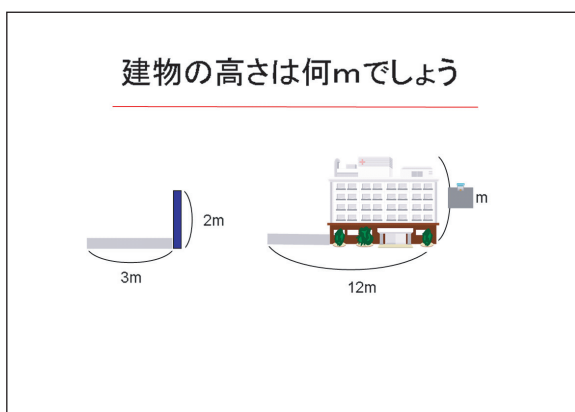
- 吹き出しのオブジェクトが表示されます。

3 吹き出しの線をダブルクリックして、テキストを入力する

- 図形オブジェクトのテキスト編集モードは、[編集] メニューの [テキスト] から入ることができます。
- ページ上の白い部分をクリックするとテキスト編集モードが終了します。

4 吹き出しの位置とサイズを調整する

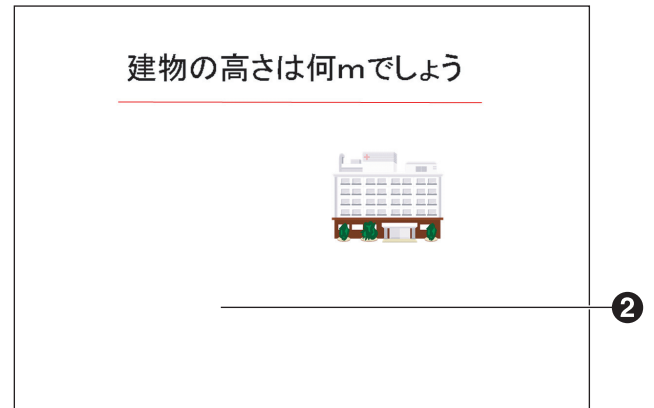
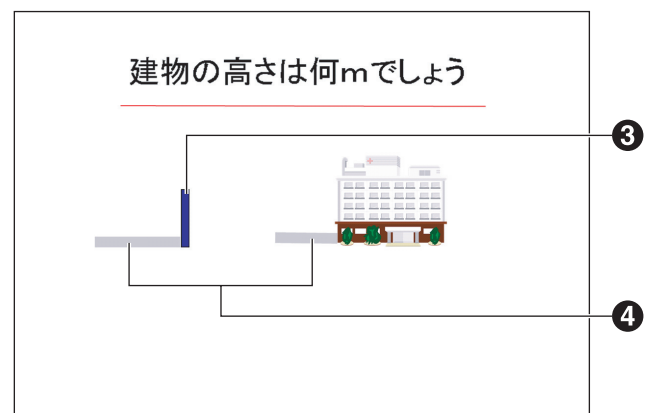

- 吹き出しの位置やサイズの調整についての詳細は、「オブジェクトを移動する」や「オブジェクトのサイズを変更する」をご参照ください。

2 ページ目**1 1ページ目をコピーして2ページ目を作成する****1 サイドウィンドウの [ページ] を選択する**

- サムネイルが表示されます。

2 サムネイルを右クリックして、[コピーページ追加] を選択する

- 自動的に2ページ目が作成されます。


**2 不要なオブジェクトを削除する****1 左側の二つの不要なオブジェクトを選択し、右クリックする****2 [削除] を選択する****3 2ページ目に長方形を描画する****1 ツールバーの  (図形) の下矢印をクリックして四角の図形を選択する**

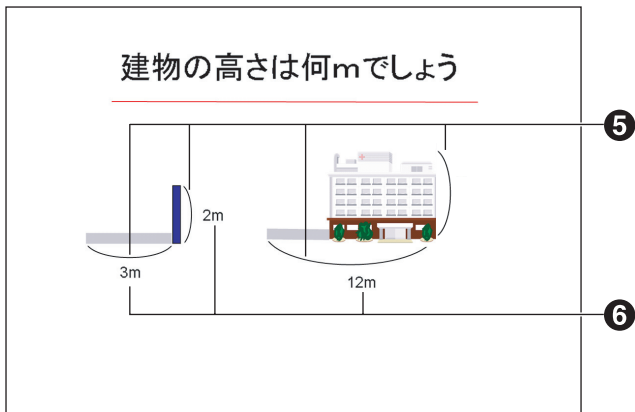
- マウスポインターが+に変わります。


2 ページ上でマウスをクリックする



- 四角のオブジェクトが、表示されます。

3 オブジェクトを選択して位置とサイズを調整する**4 オブジェクトを右クリックし、[プロパティ...] を選択する**


- 5 「選択のプロパティ」画面の「塗りつぶし」と「直線」の色を変更する
 - 6 [OK] をクリックして「選択のプロパティ」画面を閉じる
- ④ 長方形をコピーし、回転させて色を変える
- 1 四角のオブジェクトを右クリックして、[コピー] を選択する
 - 2 ページ上で右クリックして、[貼り付け] を選択する
 - 3 回転アイコンをドラッグして、コピーしたオブジェクトを回転させる
 - 4 回転させたオブジェクトを右クリックして、[プロパティ...] を選択する
 - 5 「選択のプロパティ」画面の「塗りつぶし」と「直線」の色を変更する
 - 6 [OK] をクリックして「選択のプロパティ」画面を閉じる
 - 7 オブジェクトを選択して位置を調整する
 - 8 ツールバーの  (複製選択) をクリックし、位置を調整したオブジェクトをドラッグし建物の横までマウスを移動させ複製を作る

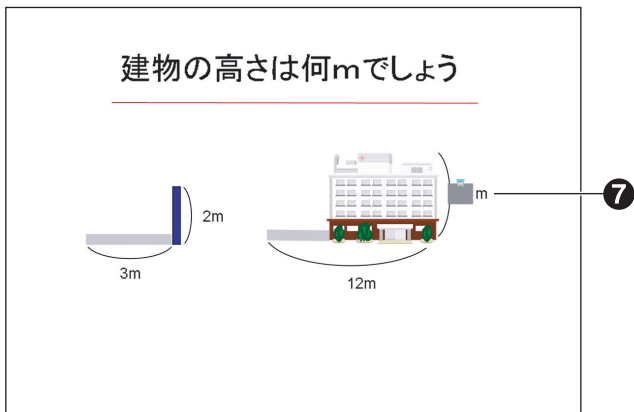


- ⑤ 曲線を追加する
- 1 ツールバーの  (図形) の下矢印をクリックして円の図形を選択する
 - マウスポインターが+に変わります。



- 2 ページ上でマウスをドラッグして、縦長の楕円を描く
 - 縦長の楕円のオブジェクトが、表示されます。
- 3 ツールバーの  (図形) の下矢印をクリックして四角の図形を選択する
 - マウスポインターが+に変わります。
- 4 縦長の楕円のオブジェクトの左半分を覆うように、ページ上でマウスをドラッグして、縦長の長方形を描く
 - 縦長の長方形のオブジェクトが、表示されます。
- 5 縦長の長方形のオブジェクトを右クリックし、[プロパティ...] を選択する
- 6 「選択のプロパティ」画面の「塗りつぶし」と「直線」の色を白に変更する
- 7 [OK] をクリックして「選択のプロパティ」画面を閉じる
- 8 手順2および手順6で作成したオブジェクト (2個) を選択し、右クリックして、[グループ化] を選択する
- 9 手順8で作成したオブジェクトを右クリックし、[順序] → [最背面へ移動] を選択して、位置とサイズを調整する
 - 曲線 (グループ化したオブジェクト) が作成されます。
- 10 ツールバーの  (複製選択) をクリックし、曲線をドラッグしマウスを移動させ複製を作る
- 11 複製した曲線を右クリックし、[順序] → [最背面へ移動] を選択して、位置とサイズを調整する
- 12 手順10と11を繰り返して残り2つの曲線を作成する

⑥ 長さを3か所に追加する

- 1 ツールバーの  (テキスト) をクリックして、表示したい場所にマウスをドラッグする
 - 「テキストプロパティ」画面とテキストボックスが表示されます。
- 2 長さを入力する



⑦ 答えを追加する

- 1 ツールバーの  (図形) の下矢印をクリックして四角の図形を選択する
- 2 表示したい場所にマウスをドラッグする
 - 四角のオブジェクトが、表示されます。
- 3 オブジェクトの線をダブルクリックして、答えの数字を入力する
- 4 オブジェクトを右クリックして、[プロパティ...] を選択する
- 5 「選択のプロパティ」画面で「線の色」を白に設定する
- 6 [OK] をクリックして「選択のプロパティ」画面を閉じる
- 7 オブジェクトを右クリックして、[シェード] → [オン (シェードあり)] を選択する
 - 答えの数字がシェードで隠れます。
- 8 ツールバーの  (テキスト) をクリックして、表示したい場所にマウスをドラッグする
 - 「テキストプロパティ」画面とテキストボックスが表示されます。
- 9 長さの単位を入力する

作成したファイルを保存する

- 1 メニューバーから [ファイル] → [名前をつけて保存...] をクリックする
 - 「ファイルを保存する」画面が表示されます。

2 ファイルの保存先とファイル名を指定して [保存] をクリックする

- エリート パナボード ブックの独自形式のデータファイル (.peb) で保存されます。


作成したファイルを使用してプレゼンテーションを行う

- 1 メニューバーから [ファイル] → [開く] をクリックする
 - 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 事前に作成したファイルを選択し、[開く] をクリックする
 - ファイルが表示されます。
- 3 大きな画面で説明するために、メニューバーから [表示] → [フルスクリーン] をクリックする
 - フルスクリーン表示に切り替わり、画面にフルスクリーンツールバーが表示されます。

前ページ
前のページを表示します。

次ページ
次のページを表示します。

ツールバー
表示ツールバー、ファイルと編集ツールバー、ツール ツールバーの表示、非表示を選択します。

フルスクリーンの終了
元の画面サイズに戻ります。
- 4 フルスクリーンツールバーの  (ツールバー) をクリックし、さらに表示したいツールバーをクリックする
 - 選択したツールバーが表示されます。
- 5 各機能を使用しながら、説明する
 - 説明するときは、以下の機能を使用することができます。

マーカー
補足説明を書き込んだり、アンダーラインを引いたりすることができます。

ハイライトマーカー
大事なポイントを強調することができます。

シェード
オブジェクトに設定されたグレーのスクリーンを操作することができます。

- 6 説明の流れに沿って、次のページを表示させるために、ツールバーの [次ページ] ボタンをクリックする
 - 次のページが表示されます。

お知らせ

- 前のページを表示させるには、ツールバーの [前ページ] ボタンをクリックします。




プレゼンテーションで使用したファイルをエクスポートする

プレゼンテーションで使用したファイルを、他のアプリケーションで利用するために、以下のファイル形式でエクスポートすることができます。

- BMP、GIF、JPEG、TIFF、PNG、HTML、PDF

詳細は「ファイルをエクスポートする (35 ページ)」をご参照ください。

デスクトップ上の操作を録画する

- 1 デスクトップ描画ツールの  (レコーダー) をクリックして起動する
 - レコーダーウィンドウが表示されます。
- 2  をクリックする
 - デスクトップ全体の録画を開始します。
 - レコーダーウィンドウが通知領域に入ります。
- 3 録画中にデスクトップ上での操作を行う
- 4 通知領域の  を右クリックし、[停止] を選択する
 - デスクトップ全体の録画を停止します。
 - 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、動画ファイルの保存先、ファイル名を設定し保存します。


録画した動画をエリート パナボードブックで再生する

- 1 メニューバーから [挿入] → [動画ファイル...] をクリックする
 - 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 保存した動画を選択し、[開く] をクリックする
 - 動画がページ上に貼り付けられて、再生されます。

描画ツールの操作のしかた

マーカー（黒／赤／青／緑）

文字や絵などの自由線を描画します。

- 1 ツールバーの （マーカー [黒／赤／青／緑]）の下矢印をクリックし、描画したい線の種類を選択する
 - マウスポインターがマーカーに変わります。
 - [マーカーのカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示されるマーカーの線種、色、透過度などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。


2 ドラッグして、自由線を描画する

お知らせ

- 描画した自由線を手書き文字認識することができます。詳細は「自由線を手書き文字認識する (33 ページ)」をご参照ください。

ハイライトマーカー


描画した自由線や図形、テキストなどページ上で強調したい箇所を塗ります。背景にあるオブジェクトは、ハイライトマーカーを通して表示されます。

- 1 ツールバーの （ハイライトマーカー）の下矢印をクリックし、描画したい線の種類を選択する
 - マウスポインターがハイライトマーカーに変わります。
 - [ハイライトマーカーのカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示されるハイライトマーカーの線種や色などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。

2 ドラッグして、自由線を描画する


イレーサー

マーカーやハイライトマーカーで描画した自由線を部分的に消去します。


- 1 ツールバーの  (イレーサー) の下矢印をクリックし、イレーサーの種類を選択する
 - マウスポインターがイレーサーに変わります。
- 2 ドラッグして、オブジェクトを消去する

直線

直線を描画します。


- 1 ツールバーの  (直線) の下矢印をクリックし、描画したい線の種類を選択する
 - マウスポインターが+に変わります。
 - [直線のカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示される直線の線種や色などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。
- 2 ドラッグして、線を描画する

お知らせ


- 右クリックしながらドラッグすると、15度ずつ傾きを変えた直線を描画することができます。
- 描画後、マウスポインターは  (選択) に戻ります。

図形

あらかじめ登録された図形を描画します。


- 1 ツールバーの  (図形) の下矢印をクリックし、描画したい図形を選択する
 - マウスポインターが+に変わります。
 - [図形のカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示される図形の線種、色、透過度などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。
- 2 ドラッグして、図形を描画する

お知らせ

- 右クリックしながらドラッグすると、縦横比固定で図形を描画することができます。
- 描画後、マウスポインターは  (選択) に戻ります。
- 図形オブジェクトのダブルクリックでテキストを入れることができます。

テキスト

テキスト編集モードでテキストを追加、修正します。

- 1 ツールバーの  (テキスト) の下矢印をクリックし、テキストの書式を選択する
 - マウスポインターがテキスト選択に変わります。
 - [テキストのカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示されるテキストの字体やサイズなどを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。
- 2 テキストを追加したい位置に、マウスポインターを合わせて、クリックまたは、ドラッグする
 - 「テキストプロパティ」画面と、テキストボックスが表示されます。
- 3 テキストボックスに文字を入力する
 - 「テキストプロパティ」画面で、文字のサイズやフォントを修正したりすることができます。
- 4 ページ上の白い部分をクリックして、テキスト編集モードを終了する

描画ツールのカスタマイズのしかた

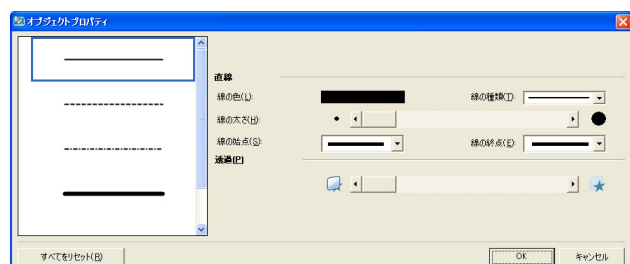
マーカー、ハイライトマーカー、直線、図形、テキストの描画ツールは、色や種類などをカスタマイズすることができます。

描画ツールをカスタマイズする

マーカーを例にして説明します。

1 ツールバーの (マーカー [黒]) の下矢印をクリックし、[マーカーのカスタマイズ] を選択する

- 「オブジェクトプロパティ」の画面が表示されます。



- 左側のウィンドウ内で選択したオブジェクトの線の色や種類、太さなどの設定を変更することができます。
- 選択した描画ツールにより、表示される設定内容は異なります。
- [すべてをリセット] をクリックすると、すべての設定内容がデフォルトの内容になります。

2 設定を変更して、[OK] をクリックする

描画したオブジェクトの操作のしかた

マーカーや図形などのツールを使用して描画したオブジェクトは、移動やサイズ変更、回転などの操作をすることができます。

オブジェクトを選択する

1 ツールバーの (選択) をクリックする

2 オブジェクトをクリックする

- オブジェクト選択状態となり、オブジェクトの周りにアイコンが表示されます。

お知らせ

- 複数のオブジェクトを選択するには、マウスポインターをドラッグして選択するオブジェクトの範囲を指定します。





オブジェクトを移動する

1 ツールバーの (選択) をクリックし、オブジェクトにマウスポインターを合わせる

- マウスポインターが十字矢印に変わります。

2 マウスポインターが十字矢印の状態、オブジェクトをドラッグして、移動する

オブジェクトのサイズを変更する

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、オブジェクトを選択する
 - オブジェクト選択状態となり、オブジェクトの周りにアイコンが表示されます。
- 2  (幅変更アイコン)、 (サイズ変更アイコン)、 (高さ変更アイコン) の各アイコンをドラッグして、オブジェクトのサイズを変更する
幅変更アイコン

ドラッグして、オブジェクトの幅を変更します。



サイズ変更アイコン

ドラッグして、縦横比自由でオブジェクトのサイズを変更します。
右クリックしながらドラッグすると縦横比固定でテキストを含みオブジェクトのサイズを変更します。



高さ変更アイコン

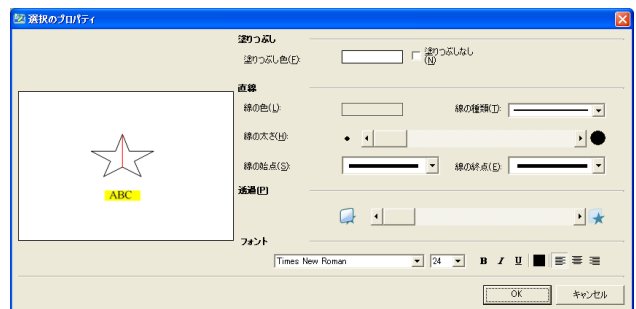
ドラッグして、オブジェクトの高さを変更します。

オブジェクトを回転させる

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、オブジェクトを選択する
 - オブジェクト選択状態となり、オブジェクトの周りにアイコンが表示されます。
- 2  (回転アイコン) の上にマウスポインターを合わせ、ドラッグして回転させる

オブジェクトのプロパティを変更する


- 1 ツールバーの  (選択) ををクリックし、オブジェクトを選択する
 - オブジェクト選択状態となり、オブジェクトの周りにアイコンが表示されます。
- 2  (メニューアイコン) をクリックし、[プロパティ...] を選択する
 - 「選択のプロパティ」画面が表示されます。





- 「選択のプロパティ」画面では、線の色や種類、太さなどの設定を変更することができます。
- オブジェクトにより、表示される設定内容は異なります。
- 複数のオブジェクトが選択されている場合、共通のプロパティを変更をすることができます。

- 3 設定を変更して、[OK] をクリックする




図形にテキストを追加する

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、図形オブジェクトをダブルクリックする
 - テキスト入力エリアが表示されます。
- 2 テキストを入力する

オブジェクトの順序を設定する

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、重なった複数のオブジェクトのひとつを選択する
- 2  (メニューアイコン) をクリックし、[順序] を選択する
 - 以下のサブメニューが表示されます。
 - 最前面へ移動
 - 最背面へ移動
 - 前面へ移動
 - 背面へ移動
- 3 オブジェクトの順序を選択する


オブジェクトをグレーで表示する (シェード)

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、グレー表示にするオブジェクトを選択する
- 2  (メニューアイコン) をクリックし、[シェード] を選択する
 - 以下のサブメニューが表示されます。
 - オフ
 - オン (シェードあり)
 - オン (シェードなし)
- 3 [オン (シェードあり)] を選択する
 - オブジェクトがシェードで覆われ、グレー表示になり、オブジェクトの上部中央に  (シェードアイコン) が表示されます。

お知らせ

- グレーで覆われたオブジェクトは、クリックするとグレーで覆われていない状態 [オン (シェードなし)] になります。
- シェードアイコンをクリックすると、グレーで覆われた状態とグレーで覆われていない状態が、交互に切り替わります。



オブジェクトを複製する

- 1 ツールバーの  (複製選択) をクリックする
 - マウスポインターが複製選択に変わります。
- 2 複製するオブジェクトをドラッグする
 - マウスボタンを離れた位置に、図形の複製が作成されます。


お知らせ

- この操作は何度も繰り返すことができますので、たくさんの複製を作成することができます。
- 位置とサイズがロックされたオブジェクトの複製を作成することはできません。

自由線を手書き文字認識する

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、手書き文字認識をする自由線のオブジェクトを選択する
- 2  (メニューアイコン) をクリックし、[文字認識] を選択する
 - 表示された候補ウィンドウから選択し [OK] をクリックするとテキストに変換されます



お知らせ

-  (メニューアイコン) をクリックし、[言語の選択] を選択すると文字認識を行う言語を切り替えることができます。
- 手書き文字認識に必要なシステム要件については、「コンピューターのシステム環境」をご参照ください。

動画ファイルの操作のしかた

ページに挿入した動画を、ページ内で再生などの操作ができます。

動画ファイルを再生する

- 1 ツールバーの  (選択) をクリックし、動画ファイルのオブジェクトを選択する
- 2  (メニューアイコン) をクリックして [動画] を選択する
 - 以下のサブメニューが表示されます。
 - 再生
 - 一時停止
 - 停止
 - 戻る
 - 送る
 - ループ再生
- 3 [再生] を選択する
 - 動画ファイルが再生されます。

お知らせ

- 再生された動画ファイルは、サブメニューより操作することができます。必要に応じて、操作を選択してください。

エリート パナボード ブックのメニューについて

ファイルメニュー

ファイルメニューでは、以下の操作をすることができます。

- ファイルを新規作成する
- ファイルを開く
- 作業中のファイルを上書き保存する
- 作業中のファイルを別の名前で保存する
- ファイルをエクスポートする
- 印刷イメージを確認する
- 印刷する
- ファイル情報を設定する
- エクスポートしたときのイメージを設定する
- リカバリーファイルの設定をする
- エリート パナボード ブックを終了する

ファイルを新規作成する

- 1 メニューバーから、[ファイル] → [新規] をクリックする
 - 新規ファイルが作成されます。

ファイルを開く

- 1 メニューバーから [ファイル] → [開く] をクリックする
 - 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 ファイルの保存先を指定し、目的のファイルをクリックする
 - 目的のファイルが開きます。

作業中のファイルを上書き保存する

- 1 メニューバーから [ファイル] → [上書き保存] をクリックする
 - ファイルが上書き保存されます。

作業中のファイルを別の名前で保存する

- 1 メニューバーから [ファイル] → [名前を付けて保存...] をクリックする
 - 「ファイルを保存する」画面が表示されます。
- 2 ファイルの保存先とファイル名を指定して [保存] をクリックする
 - エリート パナボード ブックの独自形式のデータファイル (.peb) で保存されます。

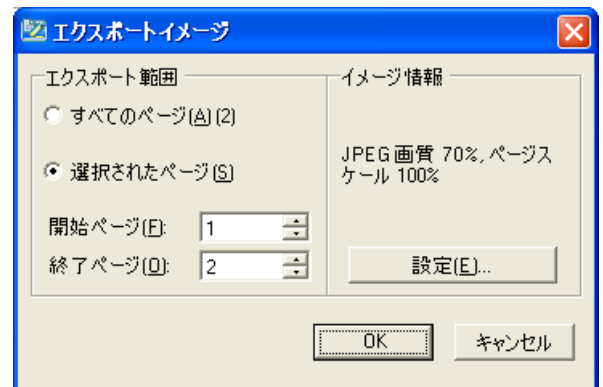
ファイルをエクスポートする

作成したファイルを、他のアプリケーションで利用するために、エクスポートすることができます。以下のファイル形式にエクスポートすることができます。

- BMP、GIF、JPEG、TIFF、PNG、HTML、PDF

BMP、GIF、JPEG、TIFF、PNG形式にエクスポートする場合

- 1 メニューバーから [ファイル] → [エクスポート] → [イメージ...] をクリックする
 - 「エクスポートイメージ」画面が表示されます。

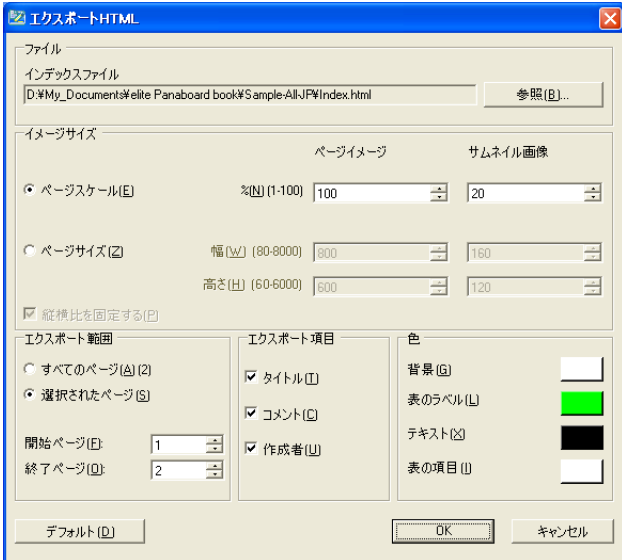


- エクスポートする画像のサイズを変更する場合は、[設定...] をクリックします。詳細は、「エクスポートしたときのイメージを設定する (37 ページ)」をご参照ください。
- 2 エクスポートするページを指定するか、[すべてのページ] を選択し、[OK] をクリックする
 - 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
 - 3 ファイルの保存先と名前を指定し、ファイルの種類を選択して、[保存] をクリックする
 - 指定したファイル形式でエクスポートされます。
 - TIFFはマルチページで保存されます。

HTML形式にエクスポートする場合

1 メニューバーから【ファイル】→【エクスポート】→【HTML...】をクリックする

- 「エクスポートHTML」画面が表示されます。



- 「エクスポートHTML」画面では、以下の設定をすることができます。

インデックスファイル

データの保存先を指定します。

ページスケール (ページイメージ/サムネイル画像)

イメージやサムネイルのスケールを設定します。

ページサイズ (ページイメージ/サムネイル画像)

イメージやサムネイルのサイズを設定します。

縦横比を固定する

縦横比を元のファイルの比率に設定します。

エクスポート範囲

エクスポートする範囲を設定します。

エクスポート項目

エクスポートしたときに「タイトル」、「コメント」、「作成者」を表示します。詳細は、「ファイル情報を設定する」をご参照ください。

色

エクスポートしたときのインデックスページの色を設定します。設定できる項目は、背景、表のラベル、テキスト、表の項目です。

2 エクスポートするファイルの設定をして、【OK】をクリックする

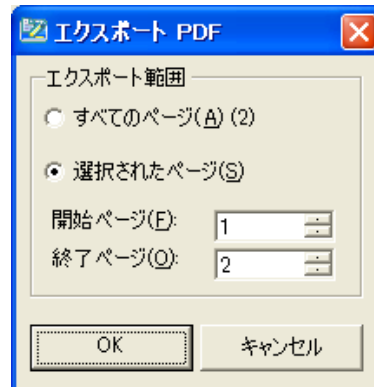
お知らせ

- 保存したファイルを表示するには、インデックスファイルで指定されたフォルダーに作成されたindex.htmlを開いてください。

PDF形式にエクスポートする場合

1 メニューバーから【ファイル】→【エクスポート】→【PDF...】をクリックする

- 「エクスポートPDF」画面が表示されます。



2 エクスポートするページを指定するか、【すべてのページ】を選択し、【OK】をクリックする

- 「名前を付けて保存」画面が表示されます。

3 ファイルの保存先と名前を指定して、【保存】をクリックする

- PDF形式でエクスポートされます。

お知らせ

- 1ページ内のオブジェクトは1つの画像として保存されます。

印刷イメージを確認する

1 メニューバーから [ファイル] → [印刷プレビュー] をクリックする

- プレビュー画面が表示されます。

お知らせ

- 元の表示に戻すには、[閉じる] をクリックします。

印刷する

1 メニューバーから [ファイル] → [印刷...] をクリックする

- 「印刷」画面が表示されます。

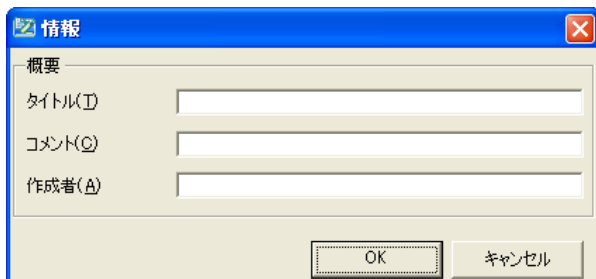
2 [OK] をクリックする

- 印刷が開始されます。

ファイル情報を設定する

1 メニューバーから [ファイル] → [設定] → [情報...] をクリックする

- 「情報」画面が表示されます。



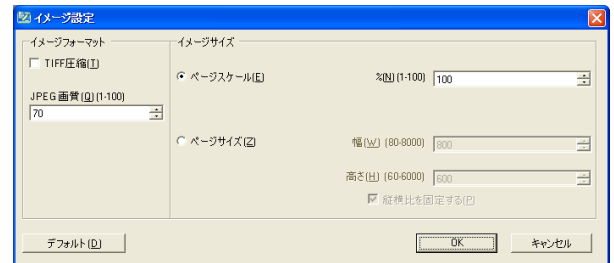
- 「情報」画面では以下の情報を設定することができます。
 - タイトル
 - コメント
 - 作成者

2 ファイル情報を入力し、[OK] をクリックする

エクスポートしたときのイメージを設定する

1 メニューバーから [ファイル] → [設定] → [エクスポートイメージ...] をクリックする

- 「イメージ設定」画面が表示されます。



- 「イメージ設定」画面では、以下の設定をすることができます。

TIFF圧縮

TIFF形式にエクスポートする場合にイメージを圧縮します。

JPEG画質

JPEG形式にエクスポートする場合の画質を設定します。

ページスケール

イメージのスケールを設定します。

ページサイズ

イメージのサイズを設定します。

縦横比を固定する

縦横比を元のファイルの比率に設定します。

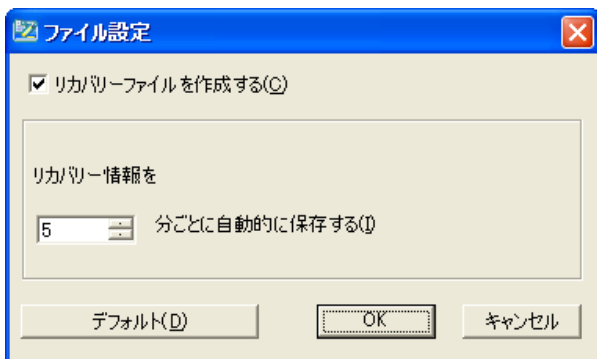
2 エクスポートするファイルの設定をして、[OK] をクリックする

リカバリーファイルの設定をする

起動時にリカバリーファイルが存在する場合、そのリカバリーファイルを使用して起動します。

1 メニューバーから【ファイル】 → 【設定】 → 【ファイル...】 をクリックする

- 「ファイル設定」画面が表示されます。



- 「ファイル設定」画面では、以下の設定をすることができます。
 - リカバリーファイルを作成する
 - リカバリー情報を○分ごとに自動的に保存する

2 リカバリーファイルの設定をして、【OK】 をクリックする

エリート パナボード ブックを終了する

1 メニューバーから【ファイル】 → 【終了】 をクリックする

編集メニュー

編集メニューでは、以下の操作をすることができます。

- 操作を元に戻す
- 元に戻した操作をやり直す
- オブジェクトを切り取る
- オブジェクトをコピーする
- 切り取り、またはコピーしたオブジェクトを貼り付ける
- オブジェクトを削除する
- オブジェクトをすべて選択する
- テキストを編集する
- シェードを設定したすべてのオブジェクトをグレーで覆う

操作を元に戻す

1 メニューバーから【編集】 → 【元に戻す】 をクリックする

- ひとつ前の状態に戻ります。

元に戻した操作をやり直す

1 メニューバーから【編集】 → 【やり直し】 をクリックする

- 【元に戻す】 で取り消した操作が、もう1度やり直されます。

オブジェクトを切り取る

1 ツールバーの【選択】 ボタンをクリックする

2 切り取るオブジェクトを選択する

3 メニューバーから【編集】 → 【切り取り】 をクリックする

- オブジェクトが切り取られ、クリップボードにコピーされます。

オブジェクトをコピーする

1 ツールバーの【選択】 ボタンをクリックする

2 コピーするオブジェクトを選択する

- 3 メニューバーから [編集] → [コピー] をクリックする
- オブジェクトがクリップボードにコピーされます。

切り取り、またはコピーしたオブジェクトを貼り付ける

- 1 切り取ったオブジェクト、またはコピーしたオブジェクトを貼り付けるページへ移動する
- 2 貼り付けるページ上で、メニューバーから [編集] → [貼り付け] をクリックする
 - 切り取られたオブジェクト、またはクリップボードにコピーされたオブジェクトがページ上に貼り付けられます。

オブジェクトを削除する

- 1 ツールバーの [選択] ボタンをクリックする
- 2 削除するオブジェクトを選択する
- 3 メニューバーから [編集] → [削除] をクリックする
 - オブジェクトが削除されます。

オブジェクトをすべて選択する

- 1 メニューバーから [編集] → [すべて選択] をクリックする
 - ページ上のすべてのオブジェクトが選択されます。

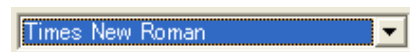
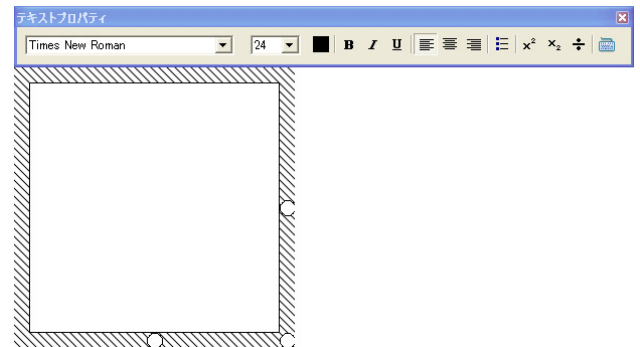
お知らせ

- ロックされたオブジェクトは選択されません。ロックの詳細は、「オブジェクトをロックする」をご参照ください。

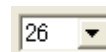
テキストを編集する

- 1 ツールバーの [選択] ボタンをクリックする
- 2 編集したいテキストまたは図形オブジェクトを選択する

- 3 メニューバーから [編集] → [テキスト] をクリックする
 - 「テキストプロパティ」画面とテキストボックスが表示されます。



文字にフォントを設定します。



文字のフォント サイズを設定します。



文字に色を設定します。



文字を太字にします。



文字を斜体にします。



文字に下線をつけます。



文字列を 1 行の左端に配置します。



文字列を 1 行の中央に配置します。



文字列の右端を、1 行の右端に配置します。



文字列を箇条書きにします。



文字を上付きにします。



文字を下付きにします。



演算に関する文字を入力します。



スクリーンキーボードを表示します。
Windowsキーボードが表示されます。

- 「テキストプロパティ」画面では、フォントや文字のサイズ、色などの文字書式を設定することができます。

4 テキストを編集する

シェードを設定したすべてのオブジェクトをグレーで覆う

- 1 メニューバーから [編集] → [すべてのシェードをオン] をクリックする
 - ページ上のシェードが設定されたすべてのオブジェクトがグレーで覆われます。シェードの詳細は、「オブジェクトをグレーで表示する (シェード)」をご参照ください。

挿入メニュー

挿入メニューでは、以下の操作をすることができます。

- 画像ファイルを追加する
- 動画ファイルを追加する

画像ファイルを追加する

- 1 メニューバーから [挿入] → [画像ファイル...] をクリックする
 - 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 使用する画像を選択し、[開く] をクリックする
 - 選択した画像がページ上に貼り付けられます。

動画ファイルを追加する

- 1 メニューバーから [挿入] → [動画ファイル...] をクリックする
 - 「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 使用する動画を選択し、[開く] をクリックする
 - 選択した動画がページ上に貼り付けられます。

ページメニュー

ページメニューでは、以下の操作をすることができます。

- 新規ページを追加する
- 既存ページをコピーして追加する
- ページをクリアする
- 現在のページを削除する
- 次ページに進む
- 前ページに戻る

新規ページを追加する

1 メニューバーから [ページ] → [新規ページ追加] をクリックする

- 新規ページが最後のページに追加されます。

既存ページをコピーして追加する

1 メニューバーから [ページ] → [コピーページ追加] をクリックする

- 現在のページのコピーが、次のページとして追加されます。

ページをクリアする

1 メニューバーから [ページ] → [ページクリア] をクリックする

- 現在のページ上のオブジェクトがすべて消去されます。

お知らせ

- ロックされたオブジェクトは、この操作では消去できません。オブジェクトのロック (46 ページ) を解除してから、削除してください。

現在のページを削除する

1 メニューバーから [ページ] → [現在のページを削除] をクリックする

- ページ削除確認の画面が表示されます。

2 [はい] をクリックする

- 現在のページが削除され、次のページが表示されます。

お知らせ

- 1 ページしかない場合、この操作はできません。
- 1 度削除したページは、[元に戻す] 操作では復元できません。

次ページに進む

1 メニューバーから [ページ] → [次ページ] をクリックする

- 次のページが表示されます。

前ページに戻る

1 メニューバーから [ページ] → [前ページ] をクリックする

- 前のページが表示されます。

表示メニュー

表示メニューでは、以下の操作をすることができます。

- サイドウィンドウのページを表示する
- サイドウィンドウのギャラリーを表示する
- サイドウィンドウの添付ファイルを表示する
- ファイルと編集ツールバーを表示する
- ページと表示ツールバーを表示する
- ツール ツールバーを表示する
- ズーム ツールバーを表示する
- スクリーンキャプチャー ツールバーを表示する
- フルスクリーン表示にする
- 表示倍率を変更する
- ページを固定する
- アイコンの設定をする
- 拡大鏡を表示する
- スクリーンシェードを表示する
- スポットライトを表示する
- スクリーンキーボードを表示する

サイドウィンドウのページを表示する

1 メニューバーから [表示] → [ページ] をクリックする

- サイドウィンドウに「ページ」が表示されます。
- 「ページ」には作成したページがサムネイル表示されます。

サイドウィンドウのギャラリーを表示する

1 メニューバーから [表示] → [ギャラリー] をクリックする

- サイドウィンドウに「ギャラリー」が表示されます。
- 「ギャラリー」にはテーマごとにいろいろな画像が用意されています。
- 「ギャラリー」および「マイコンテンツ」に登録された画像やオブジェクトをドラッグしてページへ挿入することができます。
- メインウィンドウのオブジェクトをドラッグ&ドロップで、ギャラリーの「マイコンテンツ」フォルダーに登録できます。

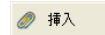
(「ギャラリーフォルダー」には登録できません。)

サイドウィンドウの添付ファイルを表示する

1 メニューバーから [表示] → [添付ファイル] をクリックする

- サイドウィンドウに「添付ファイル」が表示されます。
- 「添付ファイル」には説明の途中で使用する他のデータ (Excel、写真など) をあらかじめ登録しておくことができます。

- 「添付ファイル」をリストに追加するには、



挿入 (挿入ボタン) をクリックします。

以下のメニューをクリックし、ファイルまたは、リンクするウェブサイトアドレスを設定します。

【ファイルのコピーを挿入】

指定したファイルのコピーを、文書内に保存します。

【ハイパーリンクを挿入】

指定したウェブサイトアドレスのリンクを追加します。

【ファイルのショートカットを挿入】

指定したファイルへのリンク (ショートカット) を追加します。別のコンピューターで挿入したショートカットを開く際は、リンク先のファイルを開くことができるか確認してください。

- リストの添付ファイルをダブルクリックすると添付ファイルまたは、ウェブサイトを開くことができます。ドラッグしてページへ挿入し、ページから開くこともできます。
- 添付ファイルを削除する場合は、削除したいファイルを右クリックして、[削除] を選択してください。

ファイルと編集ツールバーを表示する

1 メニューバーから [表示] → [ファイルと編集ツールバー] をクリックする

- ファイルと編集ツールバーが表示されます。



ページと表示ツールバーを表示する

1 メニューバーから [表示] → [ページと表示ツールバー] をクリックする

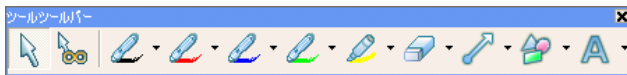
- ページと表示ツールバーが表示されます。



ツール ツールバーを表示する

1 メニューバーから [表示] → [ツール ツールバー] をクリックする

- ツール ツールバーが表示されます。



ズーム ツールバーを表示する

1 メニューバーから [表示] → [ズーム ツールバー] をクリックする

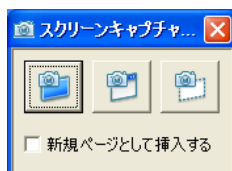
- ズーム ツールバーが表示されます。






スクリーンキャプチャー ツールバーを表示する

1 メニューバーから [表示] → [スクリーンキャプチャー ツールバー] をクリックする

- スクリーンキャプチャー ツールバーが表示されます。



	デスクトップ全体をキャプチャーします。
	赤枠のついたデスクトップ上のウィンドウをキャプチャーします。ドラッグしながらキャプチャーしたいウィンドウを選択します。ドラッグを解除するとキャプチャーします。
	ドラッグして指定した赤枠部分をキャプチャーします。キャプチャーしたい領域を指定してください。ドラッグを解除するとキャプチャーします。

拡大鏡を表示する

1 メニューバーから [表示] → [拡大鏡] をクリックする

- 拡大鏡の操作の詳細については、「拡大鏡 (14 ページ)」をご参照ください。

スクリーンシェードを表示する

1 メニューバーから [表示] → [スクリーンシェード] をクリックする

- スクリーンシェードの操作の詳細については、「スクリーンシェード (14 ページ)」をご参照ください。

スポットライトを表示する

1 メニューバーから [表示] → [スポットライト] をクリックする

- スポットライトの操作の詳細については、「スポットライト (14 ページ)」をご参照ください。

スクリーンキーボードを表示する

1 メニューバーから [表示] → [スクリーンキーボード] をクリックする

- スクリーンキーボードの操作の詳細については、「スクリーンキーボード (13 ページ)」をご参照ください。
- Windowsキーボードが表示されます。

書画カメラアプリケーションを起動する


- 1 メニューバーから [表示] → [書画カメラ] をクリックする
 - 書画カメラの仕様の詳細については、「書画カメラ (16 ページ)」をご参照ください。
 - 書画カメラのアプリケーション画面が表示されます。

フルスクリーン表示にする

- 1 メニューバーから [表示] → [フルスクリーン] をクリックする
 - フルスクリーン表示に切り替わり、フルスクリーン ツールバーが表示されます。



お知らせ

- 元の表示に戻すには、フルスクリーン ツールバーの  (フルスクリーンの終了) をクリックするか、キーボードのESCキーを押してください。

表示倍率を変更する

- 1 メニューバーから [表示] → [ズーム] をクリックする
 - 以下のサブメニューが表示されます。
300 %、200 %、150 %、125 %、100 %、75 %、50 %、
選択した表示倍率で表示します。

ページ全体

メインウィンドウ内にページがすべて表示できる表示倍率で表示します。

ページ幅

ページ幅をメインウィンドウの幅として表示する表示倍率で表示します。

単一ページ

メインウィンドウに1ページを表示します。

見開きページ

メインウィンドウに2ページを横に並べて表示します。アクティブなページは、オレンジ枠つきで表示され、クリックしたページがアクティブになります。

- 2 表示倍率を選択する
 - 選択した表示倍率で表示されます。

ページを固定する

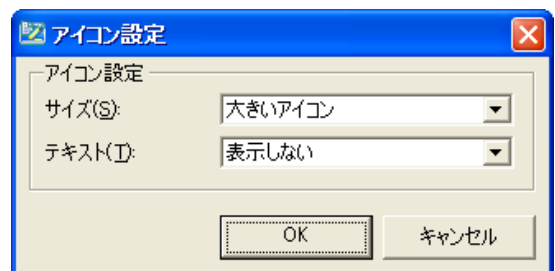
- 1 メニューバーから [表示] → [ページ固定] をクリックする
 - アクティブなページが固定され、ページを切り替えても常に表示されます。

お知らせ

- メニューの [ページ固定] は、[見開きページ] が選択されたときのみ有効になります。[単一ページ] の場合は、グレー表示になり、操作できません。

アイコンの設定をする

- 1 メニューバーから [表示] → [アイコン設定...] をクリックする
 - 「アイコン設定」画面が表示されます。



- 「アイコン設定」画面では、以下の設定をすることができます。

サイズ

アイコンのサイズを選択することができます。

- 大きいアイコン
- 小さいアイコン

テキスト

ボタン名の表示／非表示を選択することができます。

- テキストを隠す
- テキスト表示

2 設定を変更し、[OK] をクリックする

フォーマットメニュー

フォーマットメニューでは、以下の操作をすることができます。

- オブジェクトのプロパティを設定する
- オブジェクトをグループ化する
- グループ化を解除する
- オブジェクトを反転させる
- オブジェクトの順序を設定する
- オブジェクトをロックする
- オブジェクトをグレーで表示する（シェード）
- オブジェクトにリンクを設定する

オブジェクトのプロパティを設定する

選択したオブジェクトに対して、プロパティを設定します。

- 1 オブジェクトを選択した状態で、メニューバーから【フォーマット】 → 【プロパティ...】 をクリックする
 - 「選択のプロパティ」画面が表示されます。詳細は、「オブジェクトのプロパティを変更する」をご参照ください。
- 2 設定を変更し、[OK] をクリックする
 - 選択されたオブジェクトに変更が適応されます。

オブジェクトをグループ化する

複数のオブジェクトをひとつのオブジェクトにグループ化します。

- 1 グループ化したいオブジェクトを選択する
- 2 メニューバーから【フォーマット】 → 【グループ化】 をクリックする
 - 選択したオブジェクトがグループ化されます。

グループ化を解除する

- 1 グループ化されたオブジェクトを選択する
- 2 メニューバーから【フォーマット】 → 【グループ解除】 をクリックする
 - オブジェクトのグループ化が解除されます。

オブジェクトを反転させる

- 1 反転させるオブジェクトを選択する
- 2 メニューバーから【フォーマット】→【反転】をクリックする
- 3 サブメニューで【左／右】または、【上／下】を選択する
 - 選択した方向にオブジェクトが反転します。

オブジェクトの順序を設定する

重なった複数のオブジェクトがある場合に、表示させる順序を設定します。

- 1 オブジェクトを選択する
- 2 メニューバーから【フォーマット】→【順序】をクリックする
 - 以下のサブメニューが表示されます。
 - 最前面へ移動
 - 最背面へ移動
 - 前面へ移動
 - 背面へ移動

お知らせ

- 複数のオブジェクトを選択している場合は、「前面へ移動」「背面へ移動」はグレー表示になり操作できません。

3 オブジェクトの順序を選択する

オブジェクトをロックする

- 1 ロックするオブジェクトを選択する
- 2 メニューバーから【フォーマット】→【ロック】をクリックする
 - 以下のサブメニューが表示されます。
 - ロックの解除**
オブジェクトのロックを解除します。
 - 位置とサイズを固定**
オブジェクトの場所とサイズを固定します。
 - 移動を許可**
オブジェクトの形を固定したまま移動することができます。

移動と回転を許可

オブジェクトの形を固定したまま移動と回転をすることができます。

3 ロック設定を選択する

オブジェクトをグレーで表示する(シェード)

- 1 グレー表示にするオブジェクトを選択する
- 2 メニューバーから【フォーマット】→【シェード】をクリックする
 - 以下のサブメニューが表示されます。
 - オフ
 - オン (シェードあり)
 - オン (シェードなし)
- 3 【オン (シェードあり)】を選択する
 - オブジェクトがシェードで覆われ、グレー表示になり、オブジェクトの上部中央にシェードアイコンが表示されます。

お知らせ

- グレーで覆われたオブジェクトは、クリックするとグレーで覆われていない状態【オン (シェードなし)】になります。
- シェードアイコンをクリックすると、グレーで覆われた状態とグレーで覆われていない状態が、交互に切り替わります。

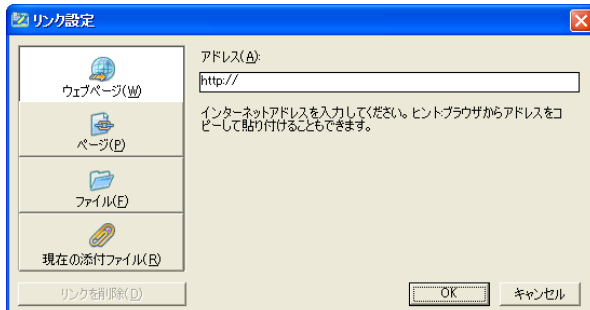
オブジェクトにリンクを設定する

オブジェクトにリンクを設定すると、オブジェクトの左下にリンクアイコンが表示されます。リンクアイコンをクリックすると、リンク先が表示されます。

1 リンクを設定するオブジェクトを選択する

2 メニューバーから [フォーマット] → [リンク...] をクリックする

- 「リンク設定」画面が表示されます。



- 以下のリンク設定をすることができます。

ウェブページ

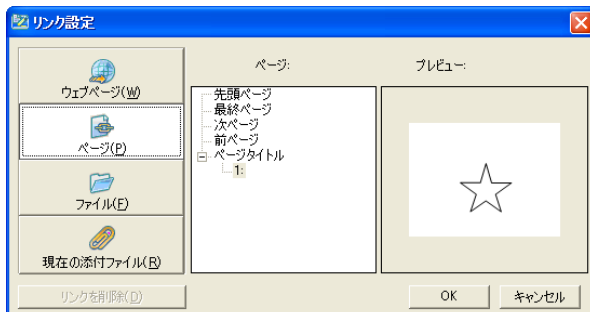
ウェブ上のサイトにアクセスします。

アドレス

テキストボックスにインターネットアドレスを入力してください。

ページ

現在開いているファイル内での、設定されたページに移動します。

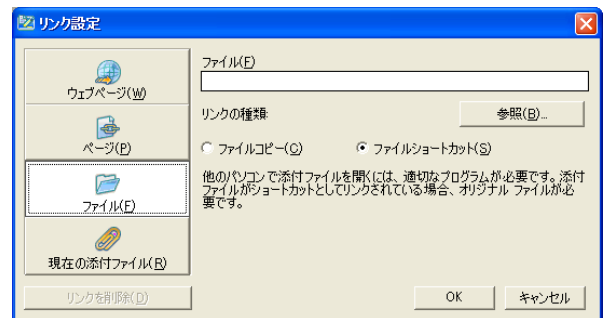


ページ

ツリーで表示されたページから、リンクページを選択します。

ファイル

設定されたファイルを開きます。



ファイル

[参照...] ボタンでリンクを設定するファイルを選択します。

ファイルコピー

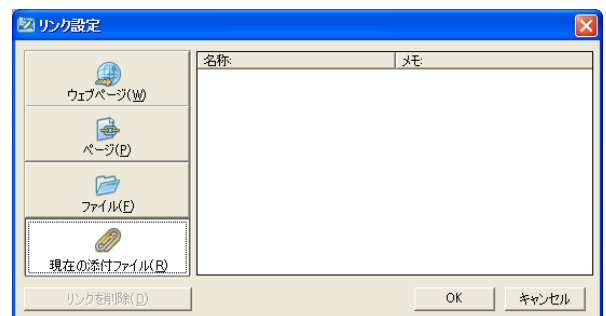
指定したファイルのコピーを添付ファイルとして挿入しリンクを設定します。

ファイルショートカット

指定したファイルのショートカットを添付ファイルとして挿入しリンクを設定します。

現在の添付ファイル

添付されているファイルを開きます。



名称

添付されているファイル一覧から、設定するファイルを選択します。







メモ

ファイルサイズなどが表示されます。

3 リンクを設定し、[OK] をクリックする

お知らせ

- [リンクを削除] ボタンをクリックすると、オブジェクトに設定されたリンクを解除することができます。
- リンクが設定されているオブジェクトの左下にリンクアイコンが表示されます。リンクアイコンをクリックすると、リンク先が表示されます。

	ウェブ上のサイトにアクセスします。
	現在開いているファイル内での、設定されたページに移動します。
	添付されているファイルを開きます。
	設定されたファイルを開きます。
	設定された音声ファイルを再生します。再生中は  になります。クリックすると再生中の音声ファイルを停止します。

ツールメニュー

ツールメニューでは、以下の操作をすることができます。

- 選択
- 複製選択
- マーカー（黒／赤／青／緑）
- ハイライトマーカー
- イレーサー
- 直線
- 図形
- テキスト
- ズームイン
- ズームアウト

選択

マウスのポインターとして動作します。

- 1 メニューバーから [ツール] → [選択] をクリックする

複製選択

複製したいオブジェクトをドラッグしてドロップすると、ドロップした場所に複製できます。この動作は何度も繰り返すことができます。

- 1 メニューバーから [ツール] → [複製選択] をクリックする

マーカー（黒／赤／青／緑）

文字や絵などの自由線を描画します。

- 1 メニューバーから [ツール] → [黒マーカー／赤マーカー／青マーカー／緑マーカー] をクリックし、描画したい線の種類を選択する
 - マウスポインターがマーカーに変わります。
 - [マーカーのカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示されるマーカーの線種、色、透過度などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。

- 2 ドラッグして自由線を描画する

ハイライトマーカー

描画した自由線や図形、テキストなどページ上で強調したい箇所を塗ります。背景にあるオブジェクトは、ハイライトマーカーを通して表示されます。

1 メニューバーから [ツール] → [ハイライトマーカー] をクリックし、描画したい線の種類を選択する

- マウスポインターがハイライトマーカーに変わります。
- [ハイライトマーカーのカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示されるハイライトマーカーの線種や色などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。

2 ドラッグして、自由線を描画する

イレーサー

マーカーやハイライトマーカーで描画した自由線を部分的に消去します。

1 メニューバーから [ツール] → [イレーサー] をクリックし、イレーサーの種類を選択する

- マウスポインターがイレーサーに変わります。

2 ドラッグして、オブジェクトを消去する

直線


直線を描画します。

1 メニューバーから [ツール] → [直線] をクリックし、描画したい線の種類を選択する

- マウスポインターが+に変わります。
- [直線のカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示される直線の線種や色などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。

2 ドラッグして、線を描画する

お知らせ

- 右クリックしながらドラッグすると、15度ずつ傾きを変えた直線を描画することができます。
- 描画後、マウスポインターは  (選択) に戻ります。

図形


あらかじめ登録された図形を描画します。

1 メニューバーから [ツール] → [図形] をクリックし、描画したい図形を選択する

- マウスポインターが+に変わります。
- [図形のカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示される図形の線種、色、透過度などを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。

2 ドラッグして、図形を描画する

お知らせ

- 右クリックしながらドラッグすると、縦横比固定で図形を描画することができます。
- 描画後、マウスポインターは  (選択) に戻ります。
- 図形オブジェクトのダブルクリックでテキストを入れることができます。

テキスト

テキスト編集モードでテキストを追加、修正します。

1 メニューバーから [ツール] → [テキスト] をクリックし、テキストの書式を選択する

- マウスポインターがテキスト選択に変わります。
- [テキストのカスタマイズ...] を選択すると一覧に表示されるテキストの字体やサイズなどを変更することができます。詳細は、「描画ツールのカスタマイズのしかた」をご参照ください。

2 テキストを追加したい位置に、マウスポインターを合わせて、クリックまたはドラッグする


- 「テキストプロパティ」画面と、テキストボックスが表示されます。

3 テキストボックスに文字を入力する

- 「テキストプロパティ」画面で、文字のサイズやフォントを修正したりすることができます。
- 文字を入力した後に、白ページ部分をクリックすると、テキストボックスは非表示になります。

ズームイン

1 メニューバーから [ツール] → [ズームイン] をクリックする

- マウスポインターが  に変わります。

2 拡大表示するエリアをドラッグし、範囲指定する


- 選択した範囲が拡大表示されます。

お知らせ

- 範囲指定の代わりに、クリックした場合は、一定の固定倍率で拡大します。
- 作業ウィンドウサイズを超えた場合は、ウィンドウにスクロールバーが表示されます。

ズームアウト

1 メニューバーから [ツール] → [ズームアウト] をクリックする

- マウスポインターが  に変わります。

2 縮小表示するエリアをドラッグし、範囲指定する

- 選択した範囲のサイズに縮小表示されます。
- 範囲指定の代わりに、クリックした場合は、一定の固定倍率で縮小します。

ヘルプメニュー

ヘルプメニューでは、以下の操作をすることができます。

- ヘルプを見る
- 最新版のソフトウェアをダウンロードする
- バージョン情報を見る

ヘルプを見る

1 メニューバーから [ヘルプ] → [ヘルプ...] をクリックする

- ヘルプが表示されます。

お知らせ

- ヘルプを表示させるためには、お使いのコンピューターにAdobe Readerがインストールされている必要があります。

最新版のソフトウェアをダウンロードする

1 メニューバーから [ヘルプ] → [最新版ダウンロード] をクリックする

- お使いのコンピューターがインターネットに接続されていれば、ダウンロードのウェブサイトが開き、最新版のソフトウェアをダウンロードすることができます。

バージョン情報を見る

1 メニューバーから [ヘルプ] → [バージョン情報...] をクリックする

- バージョン情報が表示されます。

エリート パナボード ソフトウェアのインストール

エリート パナボード ソフトウェアをお使いのコンピュータにインストールする必要があります。以下の手順に従ってコンピュータにエリート パナボード ソフトウェアをインストールしてください。

お願い

- エリート パナボード ソフトウェアのインストールが終了するまでは、USBケーブルを接続しないでください。
- 1台のコンピュータに、本機を2台以上接続しないでください。
(コンピュータの動作が不安定になることがあります。)

1 コンピューターの電源を入れ、Windowsを起動する

- 管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

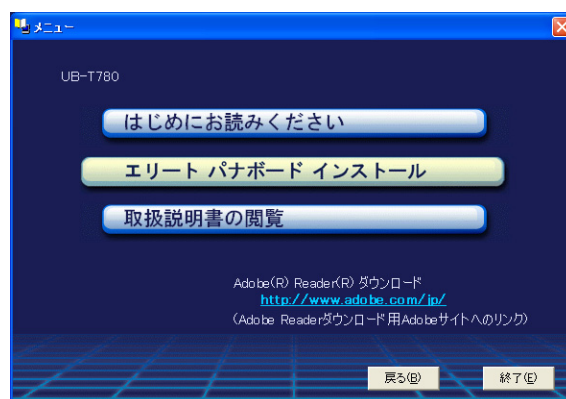
- セットアップ画面が表示されます。
- セットアップ画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ] からCD-ROMを選び、[Menu.exe] をダブルクリックしてください。
- Windows Vista / Windows 7で自動再生のダイアログボックスが表示される場合には、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。

3 「ようこそ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

4 「機種選択」画面が表示されたら、ご使用になる機種をクリックする



5 [エリート パナボード インストール] をクリックする



6 「使用許諾契約」の内容に同意される場合、[はい] をクリックする

- Windows Vistaでユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[続行] を選択してインストールを続けてください。
- Windows 7でユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合、[はい] を選択してインストールを続けてください。

7 以下の画面が表示されたら、本機とコンピューターがUSBケーブルで接続されていないことを確認し、[OK] をクリックする

- USBケーブルが本機に接続されていたら、USBケーブルをはずした後、[OK] をクリックしてください。
- .NET Framework 2.0 以上がインストールされていない場合は、インストール画面が表示されます。画面の指示に従って、インストールしてください。



8 ウィザード画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストールを続ける

9 インストールが終了したら、[完了] をクリックする

- 再起動を促す画面が表示される場合は、再起動してください。
- プログラムメニューの [Panasonic] に [エリート パナボード] グループが登録されます。
- [エリート パナボード] グループには以下のものがインストールされます。
 - エリート パナボード ソフトウェア
 - エリート パナボード ブック
 - 取扱説明書 基本編
 - 取扱説明書 ソフトウェア編
 - 最新版ダウンロード

エリート パナボード ソフトウェアを削除するには

エリート パナボード ソフトウェアを削除する必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Windowsを起動する**
 - 管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。
- 2 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] を選択する**
 - Windows 2000の場合は、[アプリケーションの追加と削除] を選択します。
 - Windows Vista / Windows 7の場合は、[プログラムのアンインストール] を選択します。
- 3 Panasonic エリート パナボードを選択し、削除する**
- 4 画面の指示に従って操作する**
- 5 操作が終了したら、コンピューターを再起動する**

故障かなと思ったとき（簡単なトラブル点検）

下表に従って処置してください。直らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と処置	参照ページ
コンピューターが電子黒板を認識しない	<ul style="list-style-type: none"> • 電子黒板の電源が入っていない → 電子黒板の電源を入れてください。 • USBケーブルが外れている → USBケーブルを正しく接続してください。 	—
電子ペンの操作位置がずれる	<ul style="list-style-type: none"> • 電子黒板、プロジェクターの位置がずれた • プロジェクターのズームやモニターの解像度を変えた → 再度キャリブレーションを行ってください。 	18
筆記したデータが欠けたり位置がずれたりする 電子ペンが機能していない	<ul style="list-style-type: none"> • 電子ペンを傾けて使用している • 直射日光やスポットライトなどの強い光が当たっている • 赤外線リモコンを電子ペンの位置検出部に向けて操作している • 電子黒板の側面近くに壁があるか、天井が近い • 電子黒板の近くにエアコンの吹き出し口がある • 電子黒板の近くでプラズマテレビまたは液晶テレビが使われている • 電子黒板の位置検出部を手や物でふさいでいる • 電子ペンの信号発信部が手でおおわれている • 複数の電子ペンが同時に使用されている → 上記原因を取り除く 上記以外で位置がずれる場合は、再度キャリブレーションを行ってください。 	—
「電池の交換時期が近づいています」というメッセージが、インタラクティブ機能を使用しているコンピューターの画面に表示される	<p>電子ペンの乾電池を、新しい乾電池に交換してください。</p>	—

症状	原因と処置	参照ページ
<p>動画がページに挿入できない、または、再生できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 必要な再生ソフトウェアがインストールされていない → Windows Media Player、Adobe Flash Playerのバージョンが古い場合やインストールされていない場合は、最新のWindows Media Player、Adobe Flash Playerをインストールしてください。 • 対応していない動画ファイルを挿入または再生しようとしている → 挿入できる動画のファイル形式は、AVI、WMV、MPG、MPEG、SWFです。 その他、動画の種類やコーデック等の問題で再生できない可能性があります。 • Windows 2000 SP4の場合、エリート パナボード ブックのページ内でWindows Media Playerの再生はできません。 	<p>—</p>
<p>手書き文字認識のメニューが出てこない、または、動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 使用中のオペレーティングシステムでは文字認識機能を使用できない → オペレーティングシステムにつきましては、「コンピューターのシステム環境 (4 ページ)」をご参照ください。 • 使用中のオペレーティングシステムに手書き文字認識に必要なソフトウェアがインストールされていない → 手書き文字認識に必要なソフトウェアをインストールする必要がある場合は、「最新版のソフトウェアをダウンロードする (50 ページ)」の手順に従ってウェブサイトを開き、ウェブサイトでの指示に従ってください。 	<p>—</p>
<p>アプリケーションにテキストを入力しようとする場合や白背景の場合などに、スクリーンキーボードが表示されなくなり、スクリーンキーボードからのテキスト入力ができない</p>	<p>スクリーンキーボードを常に画面の最上位に表示してください。スクリーンキーボードのメニューバーから [設定] → [常に最上位に表示する] をクリックして、チェックをつけてください。</p>	<p>13</p>

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号 電話 (03) 3491-9191

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2007

PJQFC0059TA KK1207MS6129